

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人
清瀬市社会福祉協議会

目 次

はじめに	1
1. 組織運営	2
2. 地域福祉事業	12
3. 第1層生活支援コーディネーター業務	18
4. 助成事業	20
5. 生活福祉資金貸付事業	23
6. ボランティア・市民活動センター事業	25
7. 共同募金	33
8. 地域包括支援センター事業	36
9. 権利擁護センター事業	40
10. 障害者福祉センター事業	47



令和3年度 社会福祉法人清瀬市社会福祉協議会事業報告

事業運営にあたっては、長引くコロナ禍により引き続き制限を受けながらも、工夫を重ねながら取り組みの継続に努めました。

生活福祉資金特例貸付は、新型コロナウイルス感染症の影響により減収・失業等の状況になった世帯に対応してきましたが、延長貸付、再貸付などの制度化により受付業務の長期化が進みました。貸し付けによる支援にとどまらず、フードバンクきよせの取り組みや応急生活支援事業と併せ、困窮する世帯の支援に注力しました。また、夏休み期間中に子どもの食支援を行うため、地域団体とともにお弁当をお届けしました。

地域包括支援センターや障害者相談支援事業所では、前年度に比べ権利擁護に関する相談の伸びが顕著です。虐待対応などにおいては権利擁護センターと連携して対応をしてきました。権利擁護センターでは、法人後見支援事業検討会による検討を重ね、令和4年度から実施する法人後見モデル事業の課題と対応の考え方などを整理したところです。

また、小地域ケア会議などを通じ明らかになってきた男性介護者への支援や買い物困難などの課題に対し、第2層生活支援コーディネーターを中心に「ケアメンの集い」「地区内での買い物（移動販売）」の場づくりにつなげました。市域全体を統括する第1層においても、助け合い活動及び生活支援サービスを検討する会を新たに立ち上げ、課題共有などを進め、連携による地域課題の解決を目指しています。

ボランティア・市民活動センターでは、ふれんどサービスの事業を新たに担うことになり、生活の中のちょっとした困りごとに対し、ボランティアによる支援と一体的に相談支援に応ずる体制を整備しました。

障害者福祉センターでは、職員や利用者などに感染者が出たため、臨時休館の措置を取ることがあったものの、感染防止策に留意しながら事業をできるだけ継続し、利用者支援を行いました。また、次期指定管理者としての運営を継続していくべく、組織横断的に事業を計画化し、今後の5年間においても指定管理者として運営することが決定しました。

法人全体としては、法人化50周年を迎え、記念誌の発行と記念式典を実施し、節目の年を関係者の方とその足跡を振り返り、次の50年への足掛かりとしたところです。

以下、各事業の実施状況の詳細について報告します。

1. 組織運営

法人運営

法人運営に必要な理事会、評議員会を実施するとともに、適正な運営が図られるよう第三者的なチェック機能をもつ場を設けた。

(1) 理事会

日程	内 容
① 4月19日	評議員選任、議案第2号 役員等賠償責任保険契約
② 6月3日	育児・介護休業等に関する規程の一部改正、令和2年度事業報告、令和2年度収入支出決算、令和3年度資金収支補正予算、役員等賠償責任保険契約、令和3年度第1回評議員会
③ 6月21日	会長、副会長、常務理事及び会計理事の選定、内部会計監査担当者の選任、清瀬市障害者福祉センター指定管理について
④ 9月27日	清瀬市障害者福祉センター指定管理について
⑤ 11月11日	苦情解決第三者委員の選任、きよせ権利擁護センター基金積立金設置規程、経理規程の一部改正、令和3年度資金収支補正予算、令和3年度第2回評議員会について
⑥ 1月13日	令和4年度事業計画の骨子、清瀬市障害者福祉センター各事業所運営規程の一部改正、清瀬市障害者福祉センター共生型地域密着型通所介護事業所運営規程新設、清瀬市障害者福祉センター通所型緩和基準型サービス事業所運営規程新設、役員等賠償責任保険契約について、法人化50周年表彰者について
⑦ 3月17日	定款の一部変更、経理規程の一部改正、個人情報保護規程の一部改正、パワーハラスメント防止規程新設、嘱託職員就業規則の一部改正、生活介護事業所運営規程の一部改正、清瀬市障害者福祉センター各事業所運営規程の一部改正、令和4年度清瀬市社会福祉協議会表彰者について、令和3年度資金収支補正予算、令和4年度事業計画、令和4年度予算、令和3年度第3回評議員会について

(2) 評議員会

日程	内 容
① 6月21日	育児・介護休業等に関する規程の一部改正、令和2年度事業報告について、令和2年度収入支出決算について、社会福祉法人清瀬市社会福祉協議会役員の選任について、令和3年度資金収支補正予算
② 11月19日	苦情解決第三者委員の選任について、きよせ権利擁護センター基金積立金設置規程について、経理規程の一部改正について、令和3年度資金収支補正予算
③ 3月25日	定款の一部変更、経理規程の一部改正、個人情報保護規程の一部改正、パワーハラスメント防止規程新設、嘱託職員就業規則の一部改正、清瀬市障害者福祉センター各事業所運営規程の一部改正、令和

日程	内 容
	3年度資金収支補正予算、令和4年度事業計画、令和4年度予算

(3) 監事監査

日程	内 容
① 5月28日	令和2年度度決算監査

(4) 会計検査

日程	内 容
① 11月9日	令和2年度上半期内部経理検査・会計理事検査

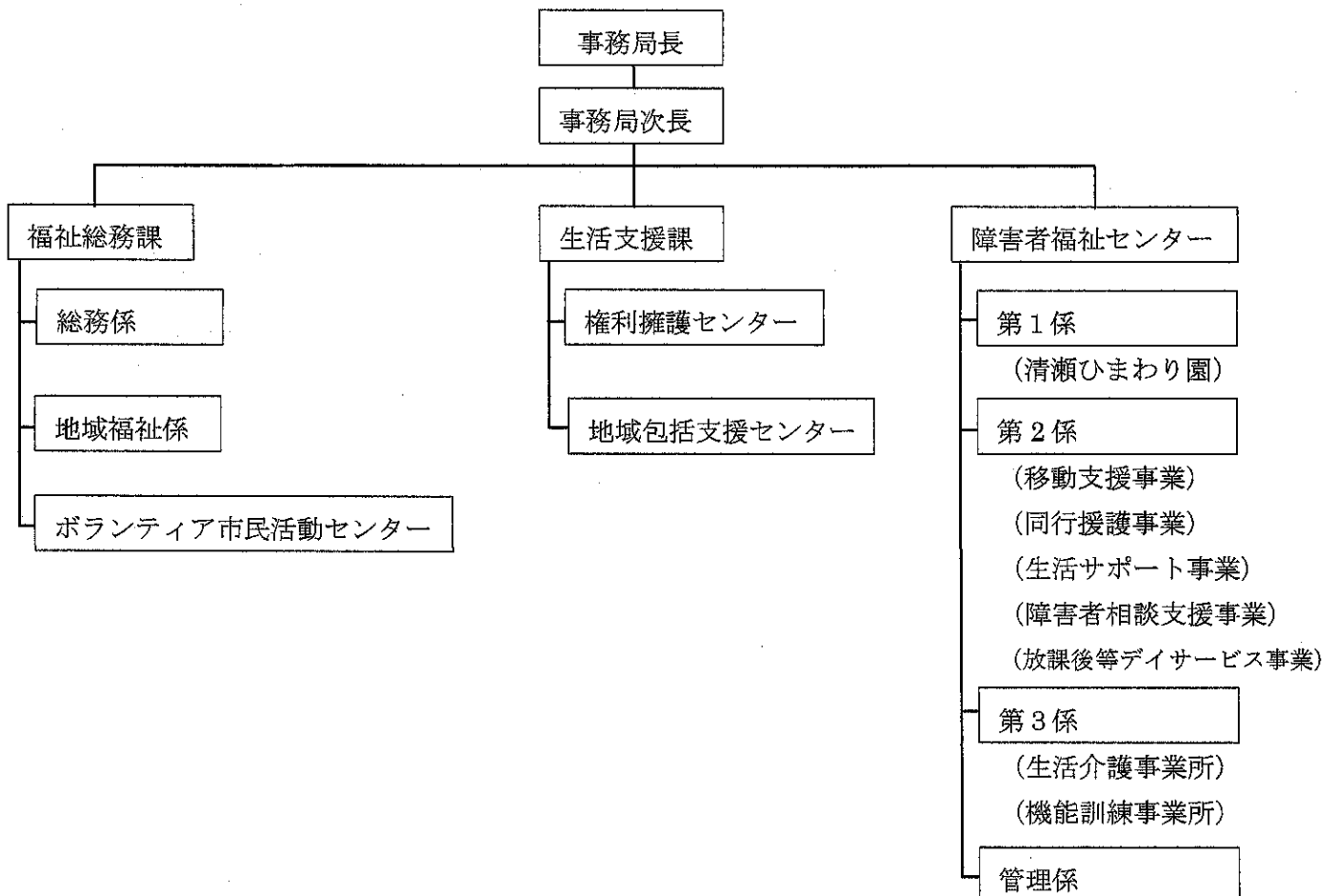
(5) 苦情解決第三者委員会

日程	内 容
① 12月13日	センター事業利用に関するアンケート、苦情・要望等への対応状況

職員構成

(1) 組織構成

(令和4年3月31日現在)



(2) 職員数

(令和4年3月31日現在 () 内は昨年的人数)

区分	正規職員 (34%)	嘱託職員 (26%)	臨時職員 (40%)	合計
事務局長		1 (1)		1 (1)
事務局次長	1 (1)			1 (1)
福祉総務課				
総務係	2 (2)	1 (1)		3 (3)
地域福祉係	4 (3)	2 (3)	3 (1)	9 (7)
ボランティア・市民活動センター		2 (2)	2 (2)	4 (4)
生活支援課		1 (1)		1 (1)
権利擁護センター	1 (2)	2 (2)	1 (2)	4 (6)
地域包括支援センター	3 (3)	1 (1)	1 (1)	5 (5)
障害者福祉センター	1 (1)			1 (1)
第1係	5 (3)	3 (3)	11 (11)	19 (17)
第2係	3 (3)	1 (1)	3 (3)	7 (7)
第3係	1 (3)	1	4 (5)	6 (8)
管理係	1 (2)	2 (2)	1 (1)	4 (5)
合 計	22 (23)	17 (17)	26 (26)	65 (66)

※福祉総務課長は、事務局次長が兼務

(3) 採用退職の状況

(単位：人)

	正規職員	嘱託職員	臨時職員	合計
採用	0	1	6	7
退職	1	1	6	8

職員研修

(1) 参加状況

①法人、組織運営関係	5件
②地域福祉事業	26件
③生活福祉資金貸付事業	0件
④地域福祉権利擁護事業	5件
⑤地域包括支援センター事業	10件
⑥ボランティア・市民活動センター事業	4件
⑦障害者福祉センター	26件

新型コロナウイルス感染症への対応

(1) 取組状況

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、感染拡大防止と職員とその家族の福祉の向上を図るため、必要な対応と仕組みをつくる。

- ①交代制勤務の実施
- ②テレワークの運用（事業継続緊急対策助成金活用）
- ③感染拡大防止に係る職務専念義務免除の拡充
- ④小学校等の休業に係る特別休暇の付与（対象助成金活用）
- ⑤各種補助金を活用した対策用品の整備

会員増強

4月に会員増強月間を設け、広く呼びかけを行ったほか、車いす貸出しや講座実施時、地域事業などの場で案内を行い、会員加入につなげた。

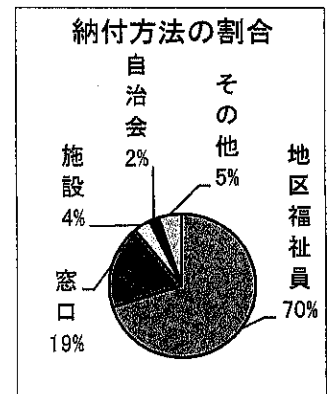
(1) 会員増強運動 4月1日～4月30日

- ①地区福祉員を介し市民に呼びかけ
- ②単年度加入の方に対し、郵便振込みでの会費納入の呼びかけ
- ③各団体・社会福祉施設等への加入の呼びかけ
- ④会員向け情報誌「社協かわらばん」(年2回)を作成し、全会員へ配布

(2) 会費の納入状況

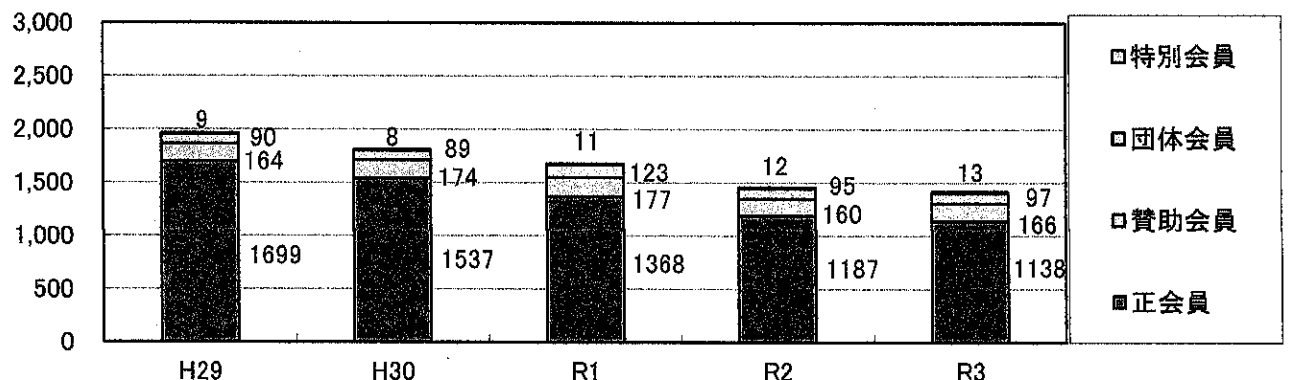
地区福祉員(66名)による納付方法が主となっている

種類	件数(件)	口数(口)	金額(円)	前年度(円)	前年度比
正会員	1,138	1,644	822,000	815,000	100.9%
賛助会員	166	207	207,000	176,000	117.6%
団体会員	97	108	324,000	321,000	100.9%
特別会員	13	13	130,000	120,000	108.3%
合計	1,414	1,972	1,483,000	1,432,000	103.6%



件数

会費件数推移



(3) 地区福祉員連絡会

- 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、開催中止
- 各地区における地区連絡会：実施なし

(4) 会員向けサービス実施

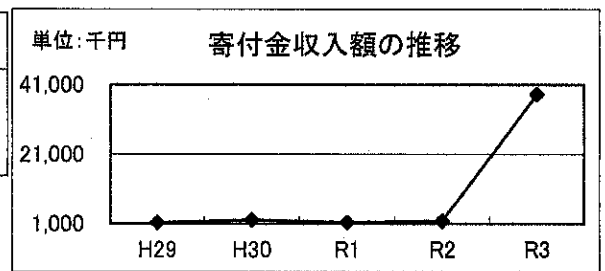
- 車椅子貸出
- 備品貸出し
- ふれんどサービス
- 会員向け情報誌の発行

財源確保

寄付金、募金箱の設置や各種事業収入を自主財源として確保し、安定した法人運営を図るため、多様な形で財源確保に努めた。

(1) 寄付金

寄付金	令和2年度	令和3年度	前年比
件数	67件	62件	2,180%
金額	1,752,301円	38,191,594円	



(2) ふれあい募金箱

①設置場所市内19か所に常設

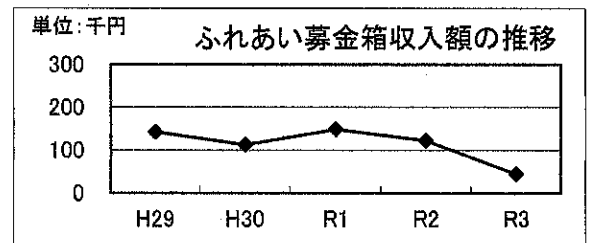
平成28年度より設置場所増設 (13→21か所)

令和2年度 1か所、令和3年度 1か所撤去 (19か所)

令和3年度下半期、未集金

②募金額

	令和2年度	令和3年度	前年比
金額	122,227円	44,731円	37%



(3) 入れ歯リサイクル事業

地域から寄せられた入れ歯をNPO法人日本入れ歯リサイクル協会が資源化し、その収益金の一部を寄付受領。

①設置場所市内10か所に常設

②寄付額

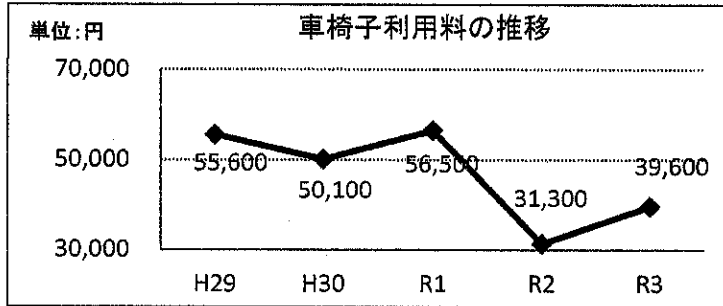
	令和2年度	令和3年度
金額	0円	467,658円

※ H28年度～ 6年分まとめて換金。

(4) 応益負担

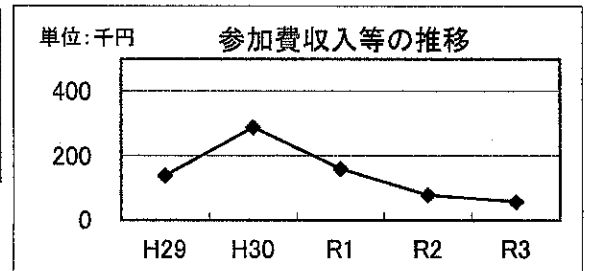
①車椅子貸出事業利用料

- ◇ 1ヶ月ごとに500円（会員は1ヶ月まで無料）
- ◇ 配達は往復の場合500円（片道のみの場合300円）



②講座等参加費収入

講習名	参加費
手話ボランティア養成講座	53,700 円
夏の体験ボランティア	3,800 円



(5) 社協だより広告料

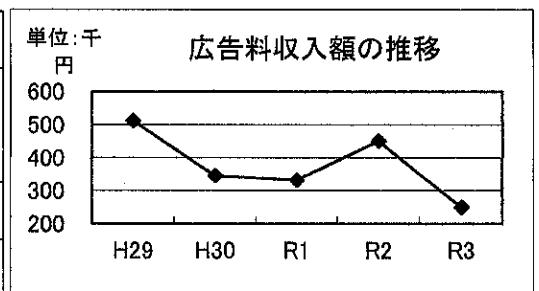
法人機関紙(社協だより)に広告枠を設置し、社協会員及び市内の企業や事業者等を中心に広告主として申請、決定されたものを掲載。

令和3年度より発行回数を年6回から4回に変更。

令和2年度より広告掲載業務の一部を委託。

○広告料収入

	令和2年度	令和3年度	前年比
件数(延べ)	22 件	16 件	73%
金額	330,000 円	240,000 円	
委託料	121,000 円	10,000 円	8%
合計金額	451,000 円	250,000 円	55%



(6) バザー・地域イベント

新型コロナウイルス感染症拡大の影響でバザー・地域イベントは中止。

12月からボランティア・市民活動センター内で市民から寄付いただいた手作り品を「ぼらかつショップ」として販売開始する。

○ ぼらかつショップ販売額 73,020円

(7) 収益事業（自動販売機の設置）

自動販売機を障害者福祉センターに1台、コミュニティプラザに3台、市民活動センターに1台設置。収益は法人全体で管理し、その管理手数料を自主財源として扱う。

①手数料収入 494,063円 (前年度：493,542円 前年比：100%)

(8) 実習生等の受入れ

地域の福祉人材育成のため、実習及び見学生を受け入れ。令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で一部受入を見合わせ。

①謝金 231,000円 (前年度：128,500円)

- * 社会福祉士養成課程 日本社会事業大学：7名 十文字学園女子大学：2名
- * 在宅看護学実習 国立看護大学校：3名

広報宣伝

(1) 社協だよりの発行

①発行状況年4回発行 (1回27,000部)

※今年度より発行回数を年6回から4回へ変更

号数	発行日	内 容
224号	4月1日	社協会員加入募集、令和3年度事業計画、予算他
225号	7月1日	夏の体験ボランティア募集、令和2年度決算、事業報告他
226号	10月1日	共同募金、フードバンクきよせ報告、助成金情報他
227号	1月1日	年頭挨拶、歳末たすけあい運動特集、市民表彰他

②配布先等

- 新聞折り込み、市内公共施設、市内自治会へ郵送。
- 自治会から枚数増の要望もあり、広く市民へ社協だよりが届くよう努めた。
- ③編集委員会編集委員へアンケートを実施し、紙面内容等を検討。
- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、会の実施は中止。

(2) ホームページによる情報提供

○リアルタイムな情報提供を目指し、職員全体で更新していく。

更新作業 90回 (前年130回)

(単位：回)

地域情報	助成金情報	講座・イベント案内	職員募集	事業報告等	情報	ボランティア・市民活動	共同募金	災害関連	社協からのお知らせ	センター	障害者福祉
11	3	3	3	2		33	6	1	19		9

(3) フェイスブックページ

①更新71回(前年73回)

(4) 地域イベントを通じたPR活動

地域で開催される催しに参加・実施協力を行い、社会福祉協議会の広報を行う。

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、地域イベントが中止。

表彰

地域福祉の推進に貢献をいただいた方に対して表彰及び表彰推薦を行った（敬称略）。

（1）高額寄付者表彰

例年、寄付金、共同募金等で10万円以上の寄付者、物品で10万円相当以上の寄贈者に対し表彰。また、社協事業に多大なご協力をいただいた方に対しても表彰しているが、令和3年度は新型コロナウイルス感染症の影響で表彰式は中止。表彰は個別対応とした。

○一般寄付者 8(名・団体)

(株)ホームケアセンターイワサキ、公益社団法人 東村山法人会、
鈴木 秀男、中野 晃一、真島 淳、萩倉 孝子、森原、土金徳太郎・弘直

○歳末たすけあい 1団体

清瀬市理事者・部課長会

○事業協力者1(名・団体)

旭が丘地区 地区福祉員

（2）法人化50周年記念表彰

○理事、監事、評議員（10年以上在籍者）46名

○高額寄附者（高額寄附表彰10回以上又は累計100万円以上）4名、2団体

○歳末たすけあい運動（歳末たすけあい運動に対する寄附表彰10回以上）1団体

○事業協力者（事業協力者として10回以上表彰かつ現在も継続して協力いただいている個人（団体）及び社協事業に対して多大なる協力を頂いている個人（団体））2団体

○地区福祉員（法人化30周年以降、10年以上在籍者（現任者））31名

○勤続20年以上の職員 5名

（3）市民表彰

○ボランティア団体：にんじんの会 清瀬国際交流会
地域通貨「ピース」運営委員会

後援名義使用承認

他団体が実施する地域福祉推進に有益な事業に対し、後援名義の使用を承認する。

団体名	内容
株式会社たまみずき	障がい者親なきあとの「お金のこと」事例研究
社会福祉法人清瀬わかば会	わかば会の仲間たち ほっと写真展！

人材育成・研修協力

(1) 実習生の受け入れ

社会福祉士を目指す方の現場実習を受け入れ、その養成を図る。

- ・日本社会事業大学 7名
- ・十文字学園女子大学 2名

(2) 社会福祉協議会事業視察・学習受け入れ

地域の関係者に、社会福祉協議会の理解を図る場を作る。

- ①日本社会事業大学地域型実習生 12月7日 13名

(3) 大学授業での講義

- ①日本社会事業大学「地域福祉活動計画」 11月2日

広域ネットワーク

(1) 取り組み協力

東京都が中心に進める会議や他地域で実践報告等の協力を行う。

- ①都内区市町村社協職員基礎研修 実践報告 10月8日
- ②西東京市社会福祉法人連絡会 取組報告 9月3日
- ③東京都社会福祉協議会チームで取り組む地域共生社会づくりの実践事例集取材
12月15日

(2) 情報共有・連携に関する会議参加

社会福祉協議会全体の取り組み推進のため、情報共有・連携を図る会議に参加。

- ①東京都社会福祉協議会 会長・役員・事務局長研究協議会 10月15日
- ②区市町村社会福祉協議会事務局長会 4月28日 7月7日 10月30日 1月28日
- ③東京都社会福祉協議会包括的支援体制及び地域福祉（活動）計画に関する研究会
会議 2月1日
- ④都内社協職員連絡会 3月7日
- ⑤都内社協職員連絡会広報委員会 7月19日 8月16日 8月17日 2月21日
- ⑥東京都地域公益活動推進協議会 はたらくサポート実践報告会 1月31日

地域連絡

関係機関が主催する会議等に出席し、地域の実情把握と情報共有等に努めた。

(1) 清瀬市主催会議

- ①地域福祉推進協議会 11月15日
- ②高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定委員会 7月22日 11月24日
1月27日
- ③清瀬市要保護児童対策地域協議会代表者会（書面） 11月12日
- ④清瀬市要保護児童対策地域協議会実務者会議 12月16日 2月17日

⑤買い物支援に関する担当者連絡会 4月23日 12月24日

(2) 地域団体の主催会議

①NPO法人ウィズアイ事業報告会 7月17日

②十文字学園女子大学実習報告会 12月11日

③日本社会事業大学附属子ども学園保護者会 4月19日

④清瀬市民生委員・児童委員協議会 定例会(各月)

2. 地域福祉事業

地域福祉活動計画の推進

(1) 第3次清瀬市民地域福祉活動計画推進委員会

第3次清瀬市民地域福祉活動計画の進捗状況について、評価・点検を行い、着実な計画推進を図るための委員会。新型コロナウイルスの影響により委員会開催時期を延期したもの。

実施日 4月26日

(2) 第4次清瀬市民地域福祉活動計画策定委員会

第4次清瀬市民地域福祉活動計画策定に向け、地域ニーズの把握を行い、市民や関係機関とともに、これからの地域福祉活動の在り方を検討し、計画化する委員会。計画期間は令和4年度から8年度。

【地域福祉活動計画策定委員会】(全7回予定)

実施日	会場	主な内容
6月25日	コミュニティプラザ、 オンライン併用	① 計画策定の意義について ② ニーズ調査について 他
8月2日	コミュニティプラザ、 オンライン併用	① 第3次計画の振り返りと残された課題 ② 作業委員会について 他
12月6日	コミュニティプラザ、 オンライン併用	① ニーズ調査報告 ② 作業委員会報告 他
2月28日	コミュニティプラザ、 オンライン併用	① 計画素案 ② 地域懇談会について 他

【作業委員会】 専門的なテーマについて検討する委員会

- ① 「包括的支援を担う専門職の連携」 10月20日 11月8日
- ② 「小地域での福祉推進組織づくり」 10月27日 11月15日

【職員ワーキング】 4回

【福祉のまちづくりアンケート調査】

- ・対象：当事者層、支援機関・専門職等、地域活動団体等、小学6年生
- ・実施時期：8月～9月
- ・配布数：1,046
- ・回答数：464

地域の繋がりづくり

(1) 福祉のまちづくり懇談会

身近な地域でつながりあい、福祉課題を共有しあい、課題解決に向けた取り組みを進めていくために、清瀬市企画課と共催による地域づくりの会を開催。

エリア	開催回数	延べ参加人数	内容
十小地域	4回 おたより 発送6回	422 (発送数含む)	円卓会議を進める清瀬市企画課と共催。平成28年6月より毎月話し合いを重ね、令和元年5月住民組織立上げ。令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響により会議開催は休止したが、役員会を1回、参加者に隔月お便り発送、有志での子どもの食支援に関する取り組み検討を行った。
清明小地域	7回	84	円卓会議を進める清瀬市企画課と共催。平成30年9月住民組織を立上げ。令和2年度からは、新型コロナウイルス感染症の影響により、全体の会議開催は休止したが、役員会は定期開催し、情報共有、子どもの食サポート事業への協力、災害勉強会を行った。
四小地域	なし	0	円卓会議を進める清瀬市企画課と共催。四小エリアでは円卓会議を開催してきたが、地域づくりの会として令和元年6月よりリスタート。令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響により会議開催等休止。

(2) 円卓・地域づくりの会リーダー情報交換会

横のつながりづくりと、新型コロナウイルス感染症の影響により中断した円卓・地域づくりの会の再開支援を目的に、清瀬市企画課と共催で開催。地域づくりに関わる生活支援コーディネーター等にも参加呼びかけした。

○11月9日 15名

(3) 清瀬市社会福祉法人社会貢献事業協議会

種別の垣根を超えた社会福祉法人が、地域の課題を共有し、ネットワークの輪を広げるとともに、地域における公益的な取り組み等を行うことを目指し、連携事業を実施。5法人の代表者を中心に、全体会議、部会を設けて、運営を行っている。

【代表者会】

①4月28日 ②9月29日 ③1月26日

I. 運営会議の進め方 II. 情報共有他

【運営会議】

実施日	会場	主な内容
6月29日	会場・オンライン	①前年事業報告・決算報告 ②事業報告 ③現状共有 ④部会 他
2月22日	会場・オンライン	①次年度事業計画・予算 ②事業報告 ③現状報告 ④部会 他

【部会】

- ①A部会「生活困窮者への支援」 5月26日 8月25日 12月22日
 ②B部会「有事の際の相互協力体制づくり」 5月26日 8月25日 12月22日

【広域連携・事業協力】

- ①西東京市社会福祉法人連絡会での取組報告 9月3日
 ②社会福祉法人・民生委員・社会福祉協議会の三者連携による事例集作成協力

(4) サロン活動団体連絡会

サロン活動を行う団体同士が、それぞれの取り組みや課題を共有し、活動につなげていくことを目指して実施する。令和3年度は中止。

(5) 地域活動再開ハンドブックの作成・配布

新型コロナウイルス感染症の影響により中断した地域活動の再開支援を目的にハンドブックを作成。サロン団体連絡会に参加団体にヒアリングを行い、必要な情報を掲載した。サロン団体や円卓・地域づくりの会に配布した他、ホームページにも掲載した。

○作成部数 250部

地域福祉情報の提供・啓発

(1) 「もしも」のときの安心ノートの発行・配付

(株) ホープとの協働により、エンディングノートを発行。これからの人生を考えていただくきっかけづくりとして、公共施設や高齢者支援機関などを通じて配付。1,400部発行。

(2) きよせふれあいまつり

社会福祉や地域の様々な活動への理解を深め、交流しあう場として、バザーやコンサートなどを実施する催し。令和2年度からは新型コロナウイルス感染症の影響により実施中止。

○参加団体へのアンケート調査

地域活動への支援

(1) 地域活動への支援と協議等の場への参加

種別	団体数	協議等	備考
新しい活動の立ち上げ相談	4	41	子どもの居場所、高齢者新聞
既存グループへの支援	46	49	サロン、子ども食堂、他
円卓会議	1	12	七小

(2) 地域活動団体等主催事業への協力・参加

地域活動団体が行う取り組みに対して、事業協力・参加を行う。

- ①子ども食堂連絡会 6月25日 9月29日 1月20日

おひさまネットワークが呼びかけ、子ども食堂を運営する団体の連絡会に参加。

- ②子ども食堂団体連絡会事例検討会 10月28日 11月26日

複数子ども食堂を利用する子どもについての事例検討会に参加

③竹丘地域防災交流会 12月12日

竹丘地域の自治会を中心とした防災交流会の実施に協力

④松山DXまつりの実施協力 11月20日

七小校区の住民、学校、地域活動団体、福祉施設等が協働して行う地域のおまつりの実施に協力

⑤七小50周年記念式典に参加 11月20日

電話訪問事業

ひとり暮らし高齢者に対し、日常生活の安全確保と孤独感の解消を図ることを目的に実施する。

(1) 利用登録

20名 (前年度末 19名)
(新規 4名、終了 3名)

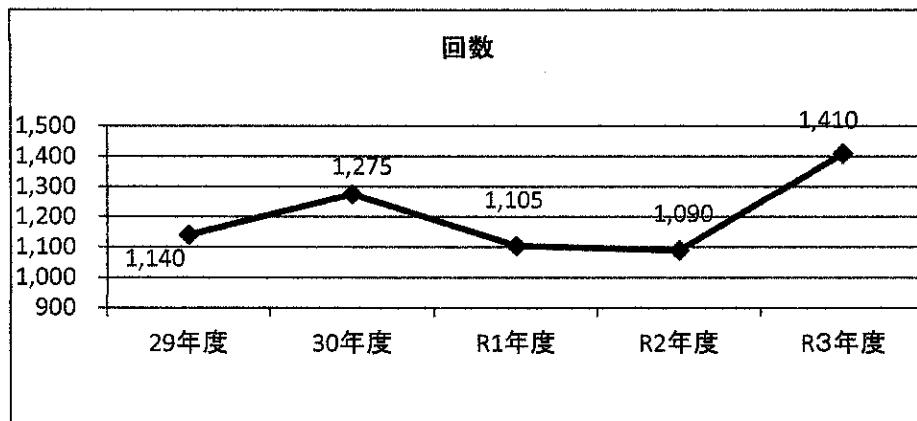
(2) のべ利用数

247名 (前年度233名)

(3) 電話訪問回数

訪問 1,410回 (前年度 1,105回)

(うち不在等再度訪問 164回、関係機関連絡調整回数 1回)



新たなニーズへの取り組み

(1) 相談支援

初回相談	11件 (前年度51件)
	<ul style="list-style-type: none"> ・近所トラブル ・障害者の社会参加相談 ・外国人の医療・就労相談 ・転宅相談 ・病気や障害による不安 ・子育て相談 ・高齢者の居場所相談 ・路上生活者からの相談 ・介護疲れの相談

(2) 必要な支援の仕組みの検討

相談から見えてきた新たなニーズに対する取り組みを検討し、進める。

①多言語情報誌

清瀬市企画課、きよせ国際交流会と必要な情報誌づくりを検討 検討会 5回

②子どもの食サポート支援「きよちゃん子ども弁当」事業の実施

歳末たすけあい募金を原資に、長期休校中に食支援が必要な子どもへのお弁当の配布を行う。市内9施設・団体に配布拠点、市内2か所の障害者就労継続支援事業所のお弁当作成の協力を得て実施。

○8月 8回、計262食提供

○実施報告会 11月29日

交通安全杖の頒布

高齢者の日常生活の安全を図るため、安価（600円）で杖を頒布。敬老大会での頒布を中心に
行っていたが、現在は地域開催になったため窓口で受け付け。

(1) 頒布実績 年間頒布本数0本（前年度 2本）

被災地・避難世帯支援

東日本大震災の被災者支援活動を行う

(1) 東日本大震災被災者追悼キャンドルin清瀬（実行委員会による実施）

追悼キャンドルの灯りを市民とともに灯し追悼を行う。

①日時 3月11日（金）17時～19時

②募金 129,065円（石巻市社会福祉協議会へ寄付）

(2) 北北ブロック社協避難者支援連絡会

東日本大震災後の都内避難者支援に関わる社協の連絡会

①11月18日 書面

厚生援護

(1) 緊急援護

応急的に支援が必要な方に対し、援護を行う。

①法外援護	1件	400円	（前年度4件	1,300円）
②火災見舞金	0件	0円	（前年度2件	20,000円）
③水道光熱費の緊急支出	0件	0円	（前年度0件	0円）
④応急生活支援金	1件	49,279円	（前年度4件	57,754円）

(2) 養護児童の自立支援金

高校卒業等により児童養護施設を退所する児童に対し、自立生活の支援を行うため、支援金を交付する。

①交付対象 ベトレーム学園 1名 子供の家 0名

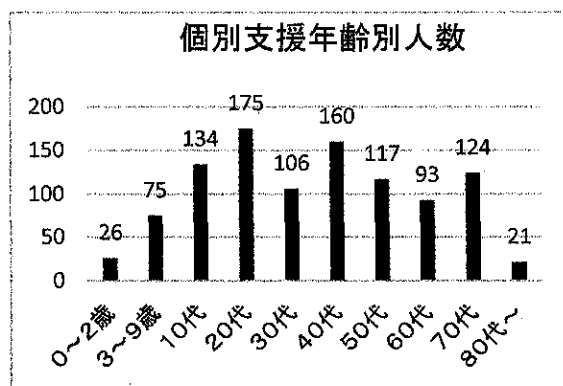
②交付額 1名につき1万円

(3) フードバンクきよせ事業

新型コロナウイルス感染症の影響等により、食の支援が必要な方に対して、食料や日用品等の支援を行う。清瀬市、ボランティアの協力を得て、令和2年7月15日より事業開始。

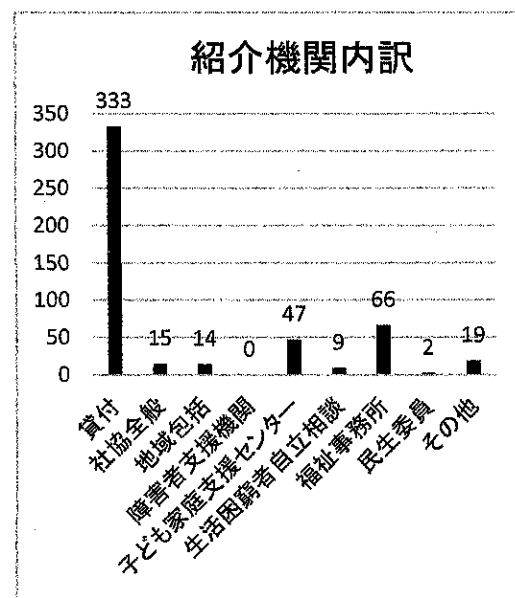
①寄附

		R3年度	R2年度
受付数	個人	340	201
	企業・団体等	207	38
	その他	18	18
受付量	食品 (kg)	6,284.41	1,350.01
	日用品 (kg)	242.16	225.49
	合計 (kg)	6,526.64	1471.9



②支援

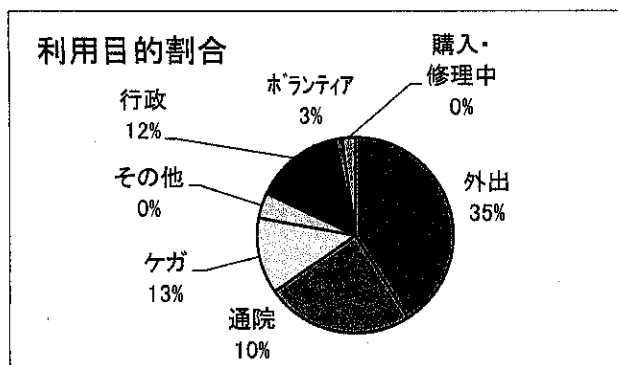
		R3年度	R2年度
個別支援	支援世帯	529	304
	世帯人員	1034	551
団体支援	支援団体数	122	45
	子ども食堂	44	26
	困窮支援団体等	5	2
	福祉施設等	67	16
	その他	6	1
配布会	実施回数	11	2
	配布数	191	51



車椅子貸出事業

一時的に車椅子を必要とする方に貸し出しする。
(事情により最大3ヶ月まで貸し出しを行う)

- 社協会員1ヶ月まで無料
- 非会員1ヶ月500円
- 配送手数料片道300円 往復500円

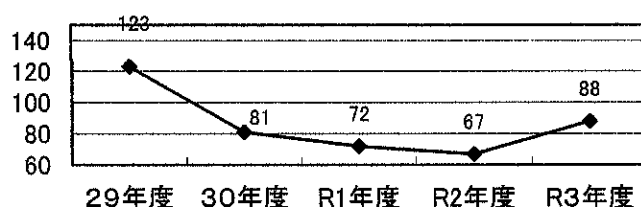


(1) 貸出実績

所有台数67台 (令和4年3月31日時点)

個人貸出	貸出	配達回収	利用料金
社協会員	29件	1件	3,800円
非会員	59件	15件	12,700円
合計	88件	16件	16,500円

車椅子個人貸出件数の推移



○公共施設への貸し出し

松山地域市民センター、竹丘地域市民センター、中里地域市民センター、下宿地域市民センター、消費生活センター、生涯学習センター、児童センター、シルバーピア中清戸、野塩地域市民センター、コミュニティプラザひまわり

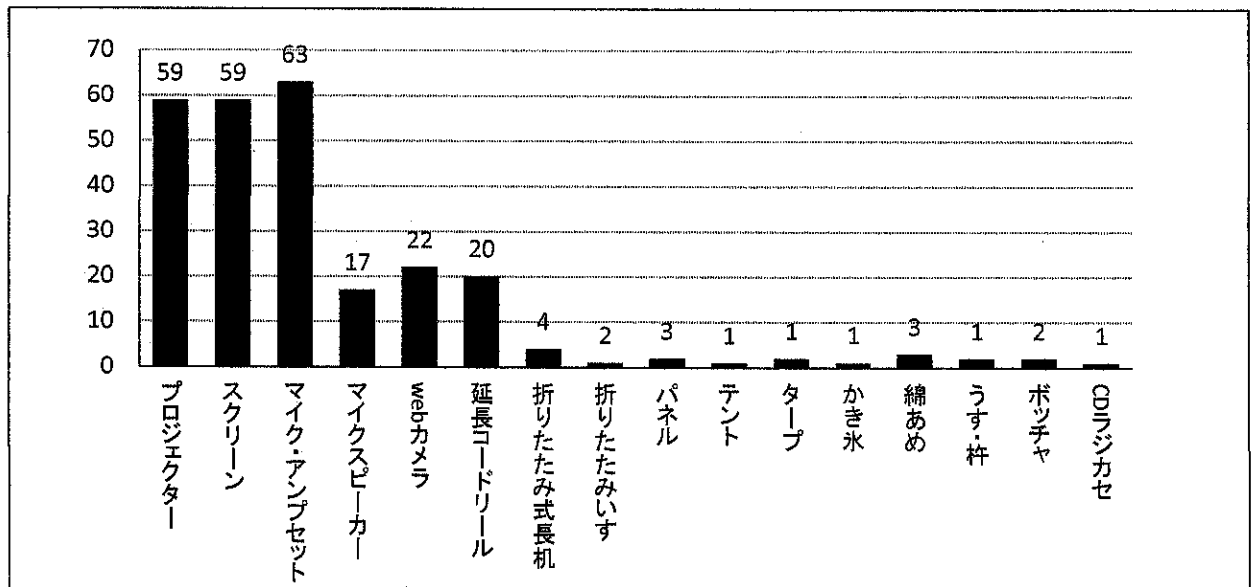
○事業への協力

福祉教育 2件 ボランティア事業 1件 選挙管理委員会 2件

地域活動のための備品貸出

地域で学びあったり、集いあったりする機会づくりを支援するために、活動に使用する備品を貸し出しするもの。(会員加入が前提)

(1) 貸し出し実績



(2) その他の貸し出し品

DVDビデオデッキ、ビデオカメラ、ICレコーダー、炊飯器、災害避難用おんぶ紐、コーヒーメーカー、台車、ベンチ椅子、ウォータージャグ

3. 第1層生活支援コーディネーター業務

第1層生活支援コーディネーター事業

地域において、生活支援・介護予防サービスの提供体制の構築に向けたコーディネート機能を果たしていく事業。(清瀬市受託事業)

(1) 生活支援・介護予防サービス提供主体等協議体の運営

生活支援、介護予防サービス体制整備に向けて、多様なサービス提供主体からなる協議体に参画し、定期的な情報共有、連携強化を図り協働によるささえあいの取り組みの推進を目指す。

①地域ケア会議と協議体の連携に向けた協議 9回

(2) 研修・会議等

①東京都生活支援体制整備事業担当者連絡会 5月18日 2月28日

- ②清瀬市地域包括支援センター運営協議会 10月12日 2月18日
- ③生活支援体制整備事業担当者情報交換会 5月18日
- ④総合事業従事者向け研修 実践編 6月28日
- ⑤生活支援コーディネーター研修 Bコース 7月5日
- ⑥キントーンセミナー 業務分析編 7月13日
- ⑦キントーンセミナー 浸透・定着編 7月27日
- ⑧介護予防事業担当者向け研修 11月10日
- ⑨東京ホームタウンプロジェクト 住民主体の地域づくりの方法 12月24日
- ⑩区市町村介護予防事業担当者向け研修 10月15日
- ⑪東京ホームタウンプロジェクトモデル地域研修 11月2日 12月2日
- ⑫清瀬市リハビリ連絡会 11月16日
- ⑬東京ホームタウンプロジェクト成果報告会 2月18日
- ⑭東社協高齢者服施設協議会センター分科会支援センター分会
5月25日 8月25日 10月26日
- ⑮たまCOS情報交換会 6月22日

(3) 第2層生活支援コーディネーターの連携・協働

地域活動支援の充実のため、各地域包括支援センターに配置された第2層生活支援コーディネーターと連携を図り、活動のバックアップを行う。

- ①情報共有の場の設定（生活支援CO打合せ） 15回開催
- ②第2層地域の勉強会や準備会、会議への参加
 - ・信愛地域…27回
 - ・社協地域…12回
 - ・清雅地域…10回

(4) 地域活動マッチングイベント

高齢者の社会参加機会をつくるため、第2層生活支援コーディネーターやボランティア・市民活動センターと連携して、コロナ禍でのあり方について検討。

- 検討会 4月7日 7月14日 7月26日
- ヒアリング調査 1回

(5) 知識が広がるプロジェクト

生活支援団体、ケアマネジャー、生活支援コーディネーターの連携によるプロジェクト

- 4月7日 7月14日 7月26日

(6) 10の筋トレ事業

支え合い活動推進支援事業として、リハビリ連絡会や第2層生活支援コーディネーター、介護予防推進センターと連携して実施。

- 説明会・体験会の実施 : 4回
- スタッフミーティングの実施 1回
- 新たな自主グループの立ち上げ : 3団体

(7) 地域活動等への支援

コロナ禍による地域活動の再開支援や必要とされる取り組みを実施。

- 地域活動再開に向けた側面的支援プロジェクト 活動の情報発信 3回
- ワクチン接種予約会の実施協力 台田団地自治会

(8) その他

- 助けあい活動及び生活支援サービスを検討する会
4月6日 6月8日 8月27日 10月26日
- 水谷東支え愛隊視察 4月1日
- 日本社会事業大学下垣ゼミでの取組報告 7月14日
- ひだまりの里職員と地域のワークショップ 12月2日
- チームオレンジ清瀬 ミーティング 8月4日 1月12日
- 社協地区自立支援型地域ケア会議 6月17日 9月16日 1月20日
- 社協地域小地域ケア会議 7月15日 11月18日
- 信愛地域小地域ケア会議 7月16日 11月16日
- 清雅地域小地域ケア会議 7月20日
- プレ地域ケア包括合同会議（仮） 12月21日
- 買い物支援担当者連絡会 4月23日 12月24日

4. 助成事業

ご近所福祉活動応援助成

地区福祉員と社協会員が行う小地域単位での支えあい活動を支援し、社協会費を地域福祉の向上に活かす

- 申請 0件

地域福祉活動応援助成

支えあい活動を推進するために、歳末たすけあい募金を原資に助成を行う。申請のあった事業に対し、共同募金会配分推せん委員会で審査のうえ、助成決定する。

(1) 助成概要

- 申請 6団体 242,000円
- 交付決定 6団体 236,000円
- ※前年度 6団体 380,000円
- 最終助成金額 5団体 125,403円（辞退1団体）
- ※辞退理由は新型コロナウイルス感染症に伴う事業中止によるもの

団体名	金額	助成内容
旭が丘みんなのサロン	26,720	会場使用料、備品借用料
緑蔭交流サロン	23,683	会場使用料、チラシ作成、インク代、非接触体温計
松山DX地域づくりの会	30,000	紙コップ、スプーン、割箸、消毒用アルコール、用紙代
チームりかすて	15,000	行事保険代

のびのび健康体操教室	30,000	講師謝金
合計(5団体)	125,403	

介護予防活動団体育成事業

介護予防活動団体の活動を円滑に進めるため、相談支援と補助金交付を行う。
(清瀬市受託事業) 申請11団体・決定11団体

団体名	金額(円)	申請内容
10の筋トレ あじさい会	14,000	介護予防の場づくりにかかわる備品整備、消耗品等
10の筋トレ 梅園にこにこ倶楽部	16,800	介護予防の場づくりにかかわる備品整備、消耗品等
10の筋トレ 緑蔭クラブ	16,800	介護予防の場づくりにかかわる会場使用料、消耗品等
10の筋トレ 信愛苑	6,720	介護予防の場づくりにかかわる備品整備、消耗品等
10の筋トレ 55のしお5	12,320	介護予防の場づくりにかかわる備品整備、消耗品等
10の筋トレ 竹丘中央	12,320	介護予防の場づくりにかかわる備品整備、消耗品等
10の筋トレ グリーンマンション	11,760	介護予防の場づくりにかかわる備品整備、消耗品等
10の筋トレ 松山クラブ	14,000	介護予防の場づくりにかかわる会場使用料、備品整備等
10の筋トレ 健友会	16,240	介護予防の場づくりにかかわる備品整備、消耗品等
10の筋トレ たんぽぽ梅園	11,760	介護予防の場づくりにかかわる備品整備、消耗品等
健康麻雀クラブ 宮の台	16,800	会場使用料、備品整備等
合計(11団体)	149,520	

助成事業の推せん(利用支援)

(1) 助成金情報の地域への提供と助言

地域団体の活動を円滑に進めるため、財団等が行う助成情報の周知を行う。

- ① ボランティア・市民活動センターホームページの専用コーナーによる情報提供を行う。
- ② 自治会、団体向けの連絡会等において助成金制度の仕組み等の情報提供を行う。
- ③ 該当すると考えられる地域団体に個別に情報提供を行う。

(2) 赤い羽根共同募金地域配分(B配分)の申請に伴う推せん

公費財源での整備が困難な、児童福祉施設、障害者(児)福祉施設を対象に、小規模修繕や備品整備などに充てる経費を配分すいせん委員会の審査により推薦する。

申請：5団体 720,000円 他助成金決定による辞退：1団体

推せん決定：4団体 380,000円(配分上限額380,000円)

団体	金額	助成内容
放課後等デイサービスAAO!	160,000	学習支援環境整備 (椅子・机)
清瀬福祉作業所	30,000	社会体験事業
わかば第1学童クラブ	0	施設整備 (蛍光灯基盤をLEDに交換)
清瀬作業所	100,000	日中活動用備品整備 (テレビ・ブルーレイレコーダー)
セルブ清瀬	90,000	作業荷物運搬のためのカゴ台車
合計	380,000	

(3) 赤い羽根共同募金整備費・特別事業費配分(A配分)の申請に伴う意見書作成
施設整備や特別事業費などを対象とした全都配分申請について、配分すいせん委員会の意見書を作成。意見書作成：1件

(4) その他地域団体の助成申請に伴う推薦

①助成金

地域団体の活動を円滑に進めるため、財団等が募集する助成事業に申請する際に推薦書を作成。推薦書作成：6件(うち決定5件)

申請団体	助成元	助成経費内容
紙芝居サークルひだまり	麒麟地域福祉財団	備品整備
わかば第一学童クラブ	出光美術館	LED照明への交換
子ども食堂おあしす	オリックス宮内財団	食費、保険代、水道光熱費等
お茶の間きよせ	オリックス宮内財団	食費、賃借料、消耗品等
ロートリークラブあけぼの	オリックス宮内財団	食費、賃借料、消耗品等
きよせエンジン	SOMPO福祉財団	事務備品 通信費等

②その他推薦

財団等が募集する表彰事業の推薦書を作成。推薦書作成：1件

対象団体	推薦先	内容
NPO法人ウィズアイ	住友生命 未来を強くするプロジェクト	子育て支援活動

5. 生活福祉資金貸付事業

貸付状況

所得の少ない世帯や障害者・高齢者のいる世帯に対し、必要な資金の貸付を行うことにより、世帯の生活の安定と経済的自立を図る（東京都社会福祉協議会受託事業）

(1) 貸付内容等の動向

①相談件数

	新規受付	貸付相談	償還相談	合計	
平成30年度	89	345	117	551	
令和元年度	107	284	95	486	※特例含む
令和2年度	1,613	5,696	319	7,628	※特例含む
令和3年度	800	3,941	472	5,213	※特例含む
前年比	50%	69%	148%	68%	

②新規貸付件数（特例除く）

	福祉費	緊急小口	教育支援	総合支援	不動産	ひとり親	合計
平成30年度	0	3	5	0	1	1	10
令和元年度	0	2	3	0	0	1	6
令和2年度	0	2	7	0	0	2	11
令和3年度	0	2	7	0	0	2	11
前年比	-	100%	100%	-	-	100%	100%

③新規申込件数（特例）

・新型コロナウイルス感染症の影響により収入が減少・途絶した世帯に対する生活福祉資金

実施期間 令和2年3月25日～ ※令和4年8月末までの予定

	相談 受付 件数	申込・貸付状況						
		申込 総数	緊急 小口 資金	総合支援資金			総合支援資金 (再貸付)	
				申込 件数	決定 件数	延長申込 件数※	申込 件数	決定 件数
令和元年度	30	3	3	0	0	0	0	0
令和2年度	1,588	1,578	675	460	396	252	191	100
令和3年度	809	830	235	231	298	92	272	358

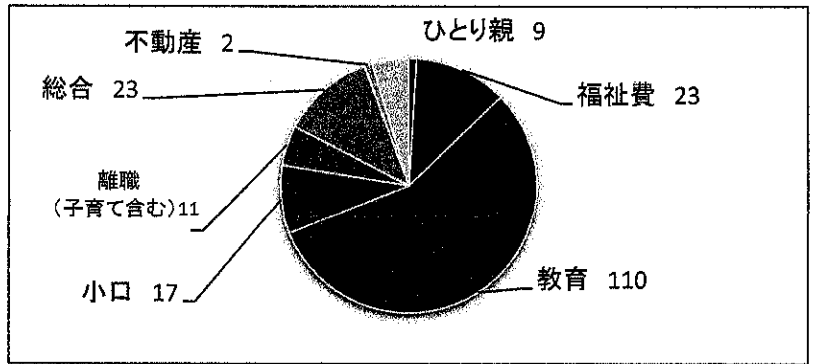
※R3.7受付終了

④年度末債権総数

	件数
平成30年度	184
令和元年度	183
令和2年度	175
令和3年度	192
前年比	110%

※
※

※特例除く



⑤年度末償還状況

※当年度償還期限内のもの。償還期限後、過年度のものは除く。

	償還率
令和2年度	73.70%
令和3年度	64.76%

(2) 担当者会議・研修

- ①生活福祉資金担当 グループ懇談会 7月21日
- ②東京都多重債務問題対策協議会情報連絡部会研修 7月19日 7月20日
- ③生活福祉資金貸付事業説明会 10月28日
- ④生活福祉資金担当職員 実務研修会「相談支援研修」 11月12日

(3) 他機関連携

- ①生活困窮者自立相談支援機関支援調整会議 10回

6. ボランティア・市民活動センター事業

運営・会議参加等

(1) きよせボランティア・市民活動センター運営委員会

地域住民及び関係機関から選出された委員によりボランティア・市民活動センター事業の実施計画、課題、運営について等を審議、検討する。すべての会で感染拡大防止を図るため、オンラインと会場実施の併用型で実施した。

日程	内 容
① 6月7日	事業報告、事業動向、ふれんどサービスについて、介護サポーターアンケートから
② 9月6日	事業動向、ふれんどサービスの実際、ひきこもり・社会と接点を欠く方への支援
③ 12月6日	事業動向、対応に苦慮するケース
④ 3月3日	事業動向、事業計画

(2) 連絡会への参加

- 市区町村ボランティア・市民活動推進事務局連絡会 4月21日 10月19日
- 市区町村ボランティア・市民活動センター長会議 9月2日
- 2022東村山防災街あるきPT会議 7月6日 8月3日 9月28日
- 北多摩北部ボランティアセンター担当者連絡会
5月12日 6月15日 9月3日 12月19日
- しんあい清戸の里運営推進会議 4月9日 6月11日 12月10日
- 当事者に学ぶ視覚・聴覚障害者セルフアドボカシーのための連携協議会 10月29日
- そらカフェ 7月15日

(3) 研修会への参加

- オンラインツールやSNS・動画配信時に気をつけたい著作権等の権利関係研修
10月22日
- ひきこもり支援者研修 10月22日
- 社協向けキントーン活用セミナー
- 誰でも描けるグラフィックレコーディング講座 3月10日

(4) 自衛消防訓練

- 《第1回》 3月11日 消火器使用法訓練
- 《第2回》 3月30日 避難誘導模擬訓練

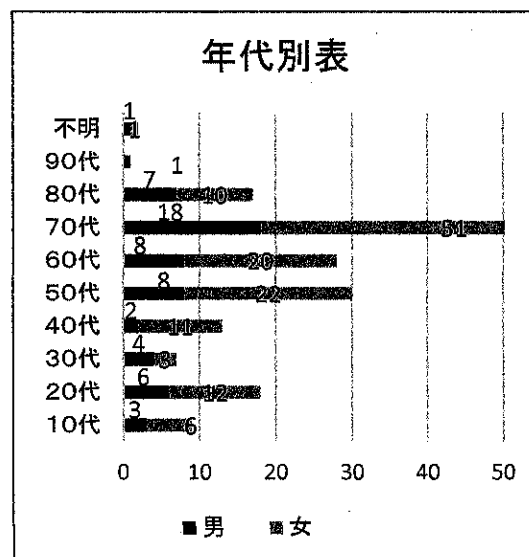
センター利用状況

(1) 登録ボランティア

①個人ボランティア登録数 194名 (前年179名)

(うち新規登録) 39名 (前年26名) 男11名 女28名

年代	男	女	計	年代	男	女	計
10代	3	6	9	60代	8	20	28
20代	6	12	18	70代	18	51	69
30代	4	3	7	80代	7	10	17
40代	2	11	13	90代	1	0	1
50代	8	22	30	不明	1	1	2
※平均約59.8歳				合計	58	136	194



②登録ボランティア団体 73団体 (前年72団体)

(2) 活動室の使用状況

①ボランティア・市民活動センター

場所	回数	(前年)	人数	(前年)
会議室1	366	289	3,346	2,648
会議室2・3	231	200	1,381	1,400
合計	597	489	4,727	4,048

②コミュニティプラザ201室

	3年度	2年度
使用団体	7	6
使用のべ回数	73	67
使用のべ人数	308	281

③窓口対応状況

	3年度	2年度
窓口来所	2,818	2,445
総来館者	7,545	6,493

(3) ボランティア保険の取扱い

(単位：件)

種別	3年度	2年度
①ボランティア保険(基本)	813	858
②ボランティア保険(天災)	144	142
③行事保険(一般)	185	83
④行事保険(当日参加型)	103	88

(4) 備品貸出

種別	回数	枚数	金額	前年額	備考
コピー機	872	872	8,720	8,370	
印刷機	97	51,084	40,820	33,300	製版383枚(前年337枚)
スキャナー	0	0	0	0	
ラミネーターA4	9	9	270	240	
ラミネーターA3	2	2	120	720	
ノートパソコン	0	-	0	0	
プロジェクター	18	-	9,000	7,000	
カラープリンターA4	0	0	0	0	
インクプリンターA1	2	32	12,800	17,600	
インクプリンターA2	0	0	0	5,100	
インクプリンターA3	0	0	0	200	
インクプリンターその他	1	1	1,430	1,810	
合計	1,001	52,000	73,160	74,340	

(5) 相談支援の動向

種別	件数	前年	内訳						
			高齢	障害	疾病	児童	住民全般	他	
(1) ボランティア依頼	37	33	7	8	2	12	6	2	
(2) コーディネート	322	322	活動希望	活動紹介	受入打診	フォロー	保険	寄付	他
			114	141	13	23	4	25	2
(3) 団体活動への支援	266	377	活動支援	打診・協働	助成金	広報	フォロー	保険	他
			82	55	39	24	24	29	13
(4) センター事業	67	53							
(5) その他	70	111							
合計	762	896							

(1) きよせぼらかつニュースの発行

ボランティア・市民活動に関する情報を定期的に発信し、広く関心を高めるとともに活動に役立つ情報と活動団体の取り組み周知を図る。

号	内容
4月号	ガイドブックの発行・掲載団体の紹介 3.11追悼キャンドルの報告 他
5月号	ボランティア・市民活動の始め方 ZOOMオンラインお試し相談会 他
6月号	団体紹介「おひさまネットワーク」梅園長寿会の友愛活動 他
7月号	夏の体験ボランティア 活動紹介「台田団地自治会のワクチン接種予約会」他
8月号	LINE活用講座実施報告 活動紹介「ウィズアイの若者自立応援事業」 他
9月号	災害ボランティア学習会 活動紹介「きよせおもちゃ病院」他
10月号	介サポだよりを発行しました 活動紹介「チームりかすて」他
11月号	たねまきびと清瀬の情報発信 活動紹介「清瀬視覚障害者グループあかり」他
12月号	歳末カレンダー市 コロナ禍での男性料理教室の活動
1月号	はじめての動物ボランティア 報告「大学生のボランティア体験」他
2月号	ふれんどサービス特集 歳末チャリティ事業の報告 他
3月号	収集ボランティア 活動紹介「竹丘一丁目あじさい自治会のマスク戸別配布」他

(2) ボランティア・市民活動一覧の発行

市民の活動参加へのきっかけづくりや団体同士の情報共有を目的に「清瀬市ボランティア・市民活動ガイドブック2022」を発行。

《内容》 85団体の情報掲載 300部発行

※コロナ禍による中止事業

①ボランティア・市民活動見本市

活動支援

(1) ボランティア・市民活動に役立つLINE活用講座

コロナ禍により対面でのコミュニケーションが制限される中、日常的なコミュニケーションと情報共有を図るツールとしてLINE活用のポイントを伝える。

《実施状況》 7月7日 参加者：12名

その後、2団体に対しメンバー向け活用講座を実施

(2) みんなのファシリテーション講座

グループでの取り組みが円滑に行われるよう、合意形成や問題解決につながる話し合いの進め方を身に着けることを目指し実施。

《実施状況》 10月9日 11月13日 12月11日 参加者：17名

(3) 日本郵便助成金説明会

幅広い市民活動を助成対象とする助成金の担当者から直接、活用の考え方、申請のポイントなどを学び、団体にあった助成金活動に繋げる。

《実施状況》 9月16日 14団体 16名

(4) 助成金活用に関する情報交換会

市内の公益法人、ボランティア・市民活動団体の助成金ニーズと活用の仕方の情報交換を行い、それぞれにあった助成金活用を考える場を設ける。

《実施状況》 9月16日 9団体 10名

(5) ビデオ会議ツール (Zoom) お試し相談会

対面でのコミュニケーション機会が取りにくくなる中、ビデオ会議ツールを用いてコミュニケーションや地域活動の会議などで活かされるよう実施。

《実施状況》 7回 7名

(6) ぼらかつショップの開設

コロナ禍で作品発表・販売の機会を失った手作り品を作成する市民団体・福祉施設を支援するため、センター内に販売コーナーを設置。併せて市民の方が寄付された寄付品を販売

《出展団体》 5団体

人材養成・学びの場

(1) 手話奉仕員養成講座 (入門編)

聴覚障害者等に対して、手話を用いたコミュニケーション支援に関わる市民を増やすために実施。全30回のうち後期分を実施する。

(2) 初めてのLINE講座

コロナ禍によりつながりが薄れている高齢者などが、新しいコミュニケーションツールを身につけ、交流のきっかけづくりの場とする。

《実施状況》 12月14日 参加者：12名

(3) シニアしっとく講座「LINE YouTubeを使ってみよう」

コロナ禍により人とあつてのコミュニケーションが厳しい中、新しいコミュニケーションスキルを身につけてもらうために実施。清瀬市地域包括支援センターと共催。

《実施状況》 7月20日 参加者：19名

(4) 男性料理教室

コロナ禍により、従来からの料理教室は休止したが、外出と交流の機会を設けるため、感染症対策を払いながら代替的な取り組みを実施する。

《実施状況》 ①「達人と歩く自然散策」 4月21日

②「災害時に役立つカレーづくり」(DVD視聴) 11月17日

(5) 福祉教育

社会福祉に関する理解を図るため、学ぶ方たちのニーズに合わせた学びの場を設ける。初めて完全オンラインで実施。

《実施状況》 2月18日 清瀬第五中学校二年生向け 87名「障害理解」

※コロナ禍による中止事業

①初めての動物ボランティア

②点訳ボランティア講座

活動体験・相談会

(1) 夏！体験ボランティア2021

ボランティア・市民活動の一端に触れ、体験的に社会福祉や様々な地域活動に関する理解を深め、ボランティア意識の醸成を図るために実施。

《実施状況》 7月26日～8月31日受け入れ団体 21団体 (2019年 48団体)

	2019	2021		2019	2021
小学生	155	107	高齢	17	-
中学生	33	11	障害	34	6
高校生	16	16	病院	13	-
大学生	5	2	児童	108	64
専門	0	0	サロン	3	-
大人	71	39	環境	175	121
幼児	1	0	福祉	70	48
合計	281	175	文化	34	-
			合計	437	239

(2) 秋の親子ボランティア体験会

若年層の方が活動の担い手として増えにくい中、団体の活動に親子で触れる機会をつくり、活動の理解ときっかけづくりにするために実施

《実施状況》 10月30日：16名 11月6日：15名

(3) 何でも聞けるボランティア・市民活動相談会

ボランティアや市民活動に関心のある方や活動している方に向けて個別相談会実施。

《実施状況》 12月9日：3名 3月29日：2名

(4) 大学生と地域をつなぐボランティア体験プログラム

コロナ禍によりボランティア活動の機会が制限されている大学生向けに、ボランティアに関する理解を図り、体験の機会を設ける。日本社会事業大学ボランティアセンター 1stepと共催。

①ボランティアガイダンス (オンライン) 11月4日 10名

②ボランティア個別相談会 11月5日～15日 20名

③ボランティア体験 受け入れ23団体 参加17名 (のべ39活動)

きよせ介護サポーター事業

(1) 事業内容

高齢者の介護予防と社会参加を目的に、サポーター登録した65歳以上の市民が高齢者施設などで地域貢献活動をした時間に応じて介護サポーター事業交付金を交付。

(2) 実績報告

①登録の状況

	男性	女性	計
新規	0	4	4
継続	32	165	197
退会	-3	-11	-14
計	29	158	187

②活動実績 実働22名 交付金85,000円

③サポーター受入施設・事業所数 36か所

(3) 介護だよりの発行

コロナ禍により活動停滞が続いているため、受け入れ施設の声を登録者に届けるとともに、介護サポーターとして活躍している人のお話を紹介するニュースを登録者向けに発行。

(4) 介護サポーターアンケートの実施

※コロナ禍による中止事業

介護サポーター向け研修会

災害ボランティアに関する取り組み

(1) 災害ボランティア登録

《登録》102名（女性66名 男性36名） 前年度末101名

(2) 災害ボランティア学習会「きよせの災害を知る・たすけあう」

清瀬で災害が起こった時に備え、清瀬市防災防犯課より被害想定、備えることなどの説明のほか、災害ボランティアに繋がるたすけあいを紹介。

《実施状況》 10月4日 22名

※コロナ禍による中止事業

①災害ボランティアセンター開設訓練

ふれんどサービス事業

高齢者世帯等で、生活保持に支障のある方（利用会員）に対し、協力会員が有償でサービスを提供する。

(1) 登録者数

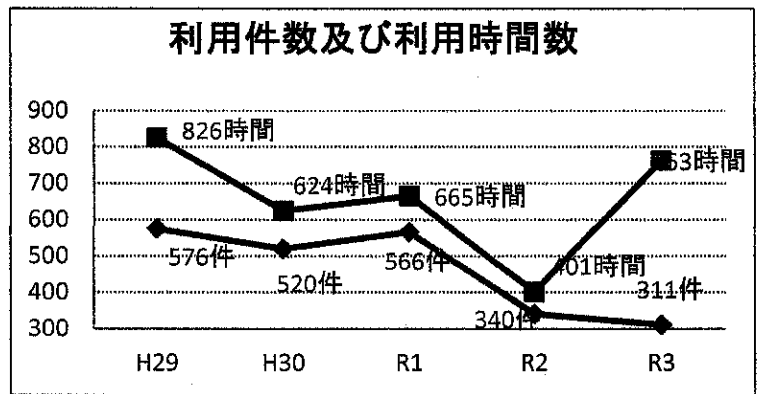
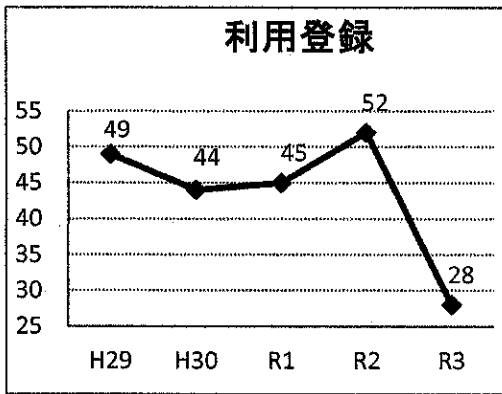
○利用会員

①登録数 年度当初：52名 年度末：28名 ②実働数：のべ145名

○協力会員

①登録数 年度当初：26名 年度末：23名 ②実働数：のべ119名

(2) 利用登録、件数、時間数の推移



(3) 会員対応

○ふれんどサービス協力会員懇談会 3月14日 9名

(4) 会員募集

○ふれんどサービス説明会 10月21日 16名参加 6名登録

7. 共同募金

共同募金全般

(1) 地域会議

共同募金の適正な推進のため地区協力会を実施し、併せて共同募金を財源とした助成事業の配分推せん委員会を実施。オンラインと会場の併用で開催。

会議	日程	内容
第1回地区協力会・配分推せん委員会	5月17日	令和2年度応援助成報告 配分審査について 他
第2回地区協力会・配分推せん委員会	9月13日	地域活動助成審査 B 配分審査 他
第3回地区協力会・配分推せん委員会	1月17日	地域活動助成審査 令和4年度助成について他
第4回地区協力会・配分推せん委員会	3月14日	募金報告 令和4年度第1回助成審査他

(2) 地域への協力依頼

- ①自治会、商店会、地区福祉員、老人クラブ、ボランティア団体、事業所の職員などに依頼
- ②公共施設、商店、事業所、福祉施設に募金箱の設置依頼
- 赤い羽根共同募金 31件 ○歳末たすけあい募金 28件

(3) 東京都募金会連携調整

- ・東京都共同募金会事務説明会(オンライン) 6月15日
- ・東京都共同募金会理事・評議員会 ※中止
- ・歳末たすけあい運動事務説明会(オンライン) 9月7日

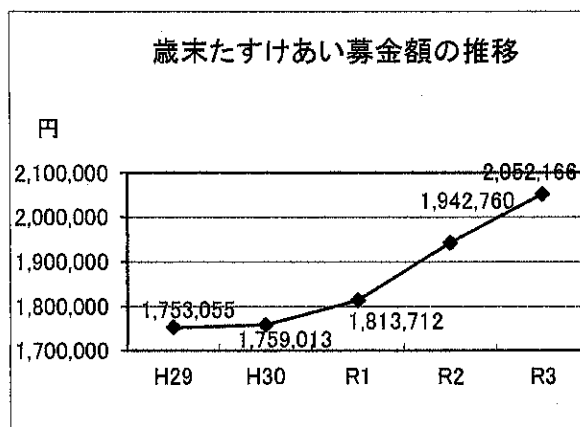
(4) 広報

- ・社協だより・社協ホームページ・市報への掲載・募金・配分団体の紹介展示

歳末たすけあい運動の実施

(1) 事業内容

- ①募金総額 2,052,166円
(前年度 1,942,760円 前年比105.6%)
- ②街頭募金募金額 76,283円(12月18日)
(前年度 48,527円 前年比157.2%)
清瀬駅北口・南口
※音声テープによる募金呼びかけ
- ③auPAY募金(新規) 3件 募金額 400円
- ④その他募金
○旭が丘団地 地区福祉員
12月18日 旭が丘Eラウンジ集会所 募金額 306,161円(前年度307,853円)



○募金百貨店プロジェクト 2件 募金額 12,730円

(2) 歳末たすけあいイベント実施 (歳末カレンダー市)

①目的

- ・歳末たすけあい運動の意義と配分先の活動を広く市民に周知を図る
- ・無理のない形で、多くの市民に歳末たすけあい運動への参加を得る

②内容

【実施日】 12月中旬～1月31日まで

コミュニティプラザ2階、きよせボランティア・市民活動センター、清瀬市障害者福祉センターの3拠点で同時実施。

12月下旬～1月31日まで市内地域市民センター窓口で実施

【内 容】

- 企業等からカレンダーや手帳等の無償提供を受け、1点100円以上の募金を促す
- 歳末たすけあい運動と助成団体の紹介コーナー

【募金額総額】 672,408円(前年度 524,862円 前年比128.1%)

(3) 令和2年度募金(令和元年度募金の繰越含む)に係る令和3年度配分

- ・地域福祉活動応援助成事業 125,403円
- ・福祉啓発、ボランティア育成事業 216,037円
- ・防災コーディネート・まちづくり 451,900円
- ・見守り、見舞金支給、困窮者支援 353,920円
- ・地域福祉情報提供事業 930,000円
- ・令和4年度事業への繰越※ 609,000円

合 計 2,686,260円

※新型コロナウイルス感染症の影響による特例対応

赤い羽根共同募金への協力(地区協力会事務局)

(1) 事業内容

民間社会福祉推進のための募金運動

①募金総額 598,024円
(前年度 594,839円 前年比100.5%)

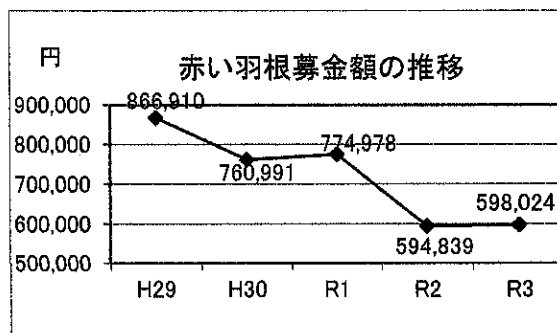
②募金運動

○街頭募金 40,138円

清瀬駅北口・南口

※音声テープによる募金呼びかけ

③auPAY募金(新規) 5件 募金額 3,366円



義援金

- (1) 平成30年7月豪雨災害義援金
※令和4年6月30日まで受付予定
○令和4年3月31日まで送金総合計 425,529円
- (2) 令和3年2月福島県沖地震災害義援金
※令和3年5月31日受付終了
○最終送金総合計 7,891円
- (3) 令和3年豪雨災害義援金
※令和4年3月31日受付終了
○最終送金総合計 0円

募金プロジェクト事業

(1) 募金百貨店プロジェクト

市内の商店や企業等と連携し、商品の売り上げの一部を共同募金に寄付する「寄付つき商品」を企画し、販売を通して無理なく募金運動に参加いただくプロジェクト。新規2件（累計3件）

- ①岩崎商店「創立100年に向けて何かしようプロジェクト」
- ②ジュピター「サービスバックで地域貢献プロジェクト」

8. 地域包括支援センター事業

運営・管理

(1) 市内地域包括支援センターとの連絡会議

適切な事業運営、市内地域包括支援センターの連携と情報共有を図るために実施。

- ①地域包括支援センター運営協議会
- ②四包括センター長会議
- ③四包括ネットワーク会議
- ④包括職種別「主任ケアマネ、保健師・看護師、社会福祉士」会議の開催
- ⑤ほうかつだより編集委員会
- ⑥自立支援型地域ケア会議
- ⑦小地域ケア会議

(2) 地域連携

市内の関係者・機関と相互理解と支援を行うために参加。

- ①ケアマネジャー団体「けあまねっと」の会議・研修
- ②認知症家族会「ゆりの会」
- ③認知症初期集中支援チーム会議
- ④個別地域ケア会議
- ⑤第2層協議体いきいき会議
- ⑥グループホーム運営推進会議
- ⑦清瀬市医療・介護連携推進協議会
- ⑧メディケアnet
- ⑨チームオレンジ

(3) 研修会等への出席

専門職として必要な技量・知識習得のため研修会に参加。

- ①キャラバンメイト研修
- ②介護支援専門員現任研修
- ③主任介護支援専門員更新研修
- ④東京ホームタウンプロジェクト

(4) ふれあいネットワーク事業

地域で声かけ見守り活動を行う「ふれあい協力員」「協力機関」とともに高齢の安否確認とふれあい事業を行う。

- ①ふれあいネットワーク事業関係者連絡会
- ②ふれあい協力員 社協ブロック連絡会 (コロナのため開催なし)
- ③ふれあいネットワーク事業合同連絡会および講演会
「消費者被害について」 (12月7日 アミューホール)

(5) 介護予防教室・講演会等の実施

①認知症サポーター養成講座

*地域で認知症高齢者への声かけや見守り活動を行うサポーター養成講座を開催

	開催日	開催方式	参加者	開催会場
①	9月9日(木)	出張講座	17名	生涯学習センター
②	9月24日(金)	出張講座	60名	芝山小学校
③	10月28日(木)	出張講座	3学年	第五中学校
④	11月10日(水)	出張講座	62名	第八小学校
⑤	12月3日(金)	出張講座	2学年	第五中学校
⑥	12月9日(木)	出張講座	93名	第十小学校

②シニアしっとく講座

*介護者教室の一環として一般市民及び高齢者を対象に開催

	開催日	開催方式	参加者	開催会場
①	10月29日(金)	出張講座 (なかなか聞けない相続と葬儀)	15	生涯学習センター

(6) 法テラスによる支援者相談

虐待対応などの対応困難ケースに適切な対応を行うために、法テラスの弁護士による清瀬市へのお出張相談を受け、利用者支援につなげていく。(コロナのため開催なし)

支援状況

(1) 介護予防ケアマネジメント事業

介護認定で要支援1及び2に該当した方の及び総合事業対象者のケアプラン作成等

①介護予防サービス計画作成者数

	R2年度	R3年度	前年比
直営	564	596	106%
委託	383	395	103%
計	947	991	105%

②介護予防ケアマネジメント作成者数

	R2年度	R3年度	前年比
直営	602	735	122%
委託	940	772	82%
計	1,542	1,507	98%

(2) 総合相談支援等

*介護をはじめ保健福祉等の総合相談支援事業。

①相談者

	R2年度	R3年度	前年比
本人	688	788	115%
家族等	551	671	122%
福祉関係者	370	458	124%
医療関係者	196	249	127%
包括	56	69	123%
行政	126	115	91%
地域近隣	60	64	107%
その他	23	25	109%
合計	2,070	2,439	118%

②受付方法

		R2年度		R3年度	
		件数	計	件数	計
電話	継続	215	1,431	261	1,670
	新規	1,216		1,409	
来所	継続	44	128	46	150
	新規	84		104	
訪問	継続	63	450	46	525
	新規	387		479	
&メール その他	継続	2	61	12	94
	新規	59		82	
計	継続	324	2,070	365	2,439
	新規	1,746		2,074	

③相談内容

	R2年度	R3年度	前年比
介護	1,903	2,517	132%
保健福祉	689	706	102%
認知症	147	185	126%
権利擁護	68	143	210%
医療	296	353	119%
クレーム	27	23	85%
経済・住まい	126	103	82%
その他	80	79	99%
合計	3,336	4,109	123%

④対応内容

	R2年度	R3年度	前年比
傾聴・ 情報提供	1,693	2,615	154%
連絡調整・情報 収集	2,117	2,581	122%
ケース対応	50	89	178%
申請 代行	10	6	60%
その他	4	10	250%
合計	3,874	5,301	137%

第2層生活支援コーディネーター

(1) 社協エリア第2層協議体(いきいき会議in元町・上清戸・中清戸・下清戸)

①支え合いの仕組みづくり

- ・他市の支え合いの仕組みの事例、市内の支え合いの仕組み(ふれんどサービス)について情報共有。
- ・小地域ケア会議の内容について共有。その中の「見守り」と「移動」のニーズについて意見交換。
- ・買い物や移動に関する困りごとについて、解決につながる連携先についてアイデア出し。
- ・東京ホームタウンプロジェクト「共創力アッププログラム」参加。買い物に関する

取り組みを協議体で進めるにあたり伴走支援を受ける。

②ケアメンの集い

- ・男性介護者を中心とした「ケアメンの集い」の講座を3回実施、のべ21名が参加。
- ・講座参加者に再度声をかけ、2回の情報交換の場を開催。次年度以降この会を半年以内に自主グループ化すること、会の取り組みとして家族介護の事例集を作成することを確認。

(2) 住民主体の活動の立ち上げ・運営支援

①きよせ10の筋トレ

- ・5月にシニアクラブ清風会にて、出前講座開催。会の活動の一つとして自主グループ立ち上げ。
- ・9月にアミューホールにて体験会を開催。参加者を中心に自主グループ「スパチカ元町（清瀬駅前ハイツ集会所）」立上げ。
- ・宮の台住宅自治会集会所での出前講座にむけ企画・打ち合わせを実施。1月に予定していたが、感染症拡大のため延期。
- ・社協包括地域のグループを対象とした合同体力測定会の企画に参加。2月実施を予定していたが感染症拡大のため延期。

(3) 会議体への参加

- ①円卓会議・地域づくりの会 リーダー会
- ②買い物支援担当者連絡会
- ③第1層協議体（書面開催）
- ④ふれあい協力員合同連絡会

(4) その他地域との関わり

- ・協議体で挙げた連携先のアイデアをもとに、12月～3月にJA・森田商店・社協包括の三者共催で移動販売を企画・開催。月1回の打合せで会場の安全対策等についての検証を実施。
- ・スパチカ元町のコロナ禍での休止中、代替活動（ウォーキング）について実施方法を助言。
- ・10の筋トレスパチカ元町参加者より、支え合いの仕組み立上げに興味があるとの話あり、清瀬駅前ハイツでの生活支援の仕組みについて少人数での検討を企画。

(5) 研修への参加

- ①生活支援コーディネーター現任者研修Ⅰ（全6回）
- ②いきがい・助け合いサミットin神奈川
- ③東京ホームタウンプロジェクト「共創力アッププログラム」伴走支援

9. 権利擁護センター事業

運営全般

(1) 運営委員会

事業の適正な運営を図るために、学識者(弁護士)をはじめ精神科医師・司法書士・社会福祉士等の専門職や関係機関・団体の代表者、行政職員で構成する運営委員会を開催した。

日程	内 容
8月23日	令和2年度 きよせ権利擁護センター事業報告 ※新型コロナウイルス感染防止の観点から書面にて開催
	法人後見支援事業の詳細調整及び成年後見制度利用促進のための中核機関設置の委託等を清瀬市と調整中であるため、令和4年度に開催を延期

(2) 広域連携

関係機関との情報交換や懇談会に参加し、事業の推進、課題整理、先進地域の取り組みについての情報収集等に努めた。

- 東社協地域福祉権利擁護事業業務連絡会 6月28日 2月4日
- 東社協地域福祉権利擁護事業 センター長会議 11月18日
- 家事関係機関と東京家庭裁判所との連絡協議会 2月16日
- 利用者支援区市町村連絡会 2月25日
- 成年後見地域連携ネットワーク会議及び成年後見制度推進機関連絡会 11月1日
- 成年後見制度利用促進基本計画に関する地域と家裁との連絡会 11月29日
- 成年後見制度利用促進基本計画に関する第7回連絡会 9月17日
- 北多摩北部ブロック権利擁護業務連絡会 5月24日 7月30日 12月3日 2月25日

(3) 地域連携

関係機関の連絡会等に参加し、情報共有・事業周知等を行い連携強化を図る。

- 清瀬市地域包括支援センター運営協議会 5月10日 10月12日 2月18日
- 清瀬市成年後見制度等利用促進のための体制整備検討会
- 清瀬市情報公開・個人情報保護審査会 10月19日 2月22日

(4) 研修参加

専門的な知識や技術を確保するため、内部研修の実施と外部研修へ参加した。

- 成年後見制度推進機関・テーマ別研究会議 7月28日 12月8日
- 成年後見制度推進機関職員フォローアップ研修 7月7日
- 東社協地域福祉権利擁護事業専門員研修 8月17日 8月27日
- 東社協福祉サービス苦情対応基礎研修 9月9日
- 東社協地域福祉権利擁護事業現任生活支援員研修 1月から3月の間で動画視聴による

(1) 法人後見監督の実施

市民後見人として成年後見人等を受任する場合において、その活動をサポートするために社協が法人として後見監督を行った。(同行訪問、業務報告の点検、事例検討会への報告等)

○受任件数 1件

①後見類型・高齢者・施設入所中 平成27年7月15日 後見開始審判

②後見類型・高齢者・施設入所中 平成31年1月8日 後見開始審判

(令和4年2月17日死亡)

(2) 成年後見人サポート

専門職後見人と、事例を基に支援の方向性の検討や連携の方法などを学ぶために勉強会を開催した。申立支援や後見人サポートの一環として、家裁への同行、受理面接立会、財産引継の立会、同行訪問等を実施した。また個別の事案について、後見人等からの要請により都度必要な支援(後見人等支援)を実施した。

(3) 成年後見利用支援

成年後見制度の利用支援の一環として、相談支援、成年後見申立書類作成相談、家裁への同行、家裁の調査官による現地調査立会いなどを行った。

種別	R1年度	R2年度	R3年度
相談支援(連絡調整・本人等訪問)	2,561	3,081	2,106
家裁への申立同行	5	19	9
家裁調査官の現地調査立会い等	5	7	5

(4) 事例検討会の設置

権利擁護センターが関わる事例について、支援の専門性及び客観性を確保するため、専門職からなる事例検討会を開催し、事例検討を行った。

日付	内容
6月3日	①継続事例報告 ②新規事例：市長申立の適否3件/前回からの継続事例：市長申立の適否1件③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督について報告
9月16日	①継続事例報告 ②新規事例：市長申立の適否5件/前回からの継続事例：市長申立の適否1件 ③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督業務について
12月9日	①継続事例報告 ②新規事例：市長申立の適否4件/前回からの継続事例：市長申立の適否1件 ③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督業務について
3月3日	①継続事例報告 ②新規事例：市長申立の適否2件/前回からの継続事例：2件 ③社会貢献型後見人の活動報告及び後見監督業務について

(5) 市民後見人活用の検討

活用についての考え方（受任要件の緩和、法人後見支援事業における後見支援員としての活動等）を法人後見支援事業検討会で検討した。

2月16日 3月25日	法人後見支援事業検討会（委員：弁護士、司法書士、社会福祉士）
----------------	--------------------------------

成年後見制度推進事業

(1) 一般相談の動向 *職員（社会福祉士等）による相談

対象区分	高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		身体障害者等		不明・その他		合計		前年比
	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	
成年後見制度	38	21	3	4	2	2	0	0	1	0	44	27	61%
地域福祉権利擁護事業	28	22	0	2	5	4	0	0	1	3	34	31	91%
権利擁護全般	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	1	100%
相続・遺言	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	33%
福祉サービス・苦情	1	1	0	0	0	2	1	0	2	0	4	3	75%
福祉サービス全般	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0%
その他	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	50%
合計	72	45	3	7	7	9	2	0	5	3	89	64	72%

(2) 職員による苦情対応

No.	申立者	苦情内容等	対応内容
		①グループホームに入所中女性高齢者から同所の施設長に対する苦情。主は3年前から同所に入所している。これまで同所の施設長から複数回にわたり嫌がらせを受けている。直近では先月午前2時頃、居室で就寝中に寝巻を脱がされ、懐中電灯で胸あたりを照らされた。それ以前にも同様の嫌がらせ複数回受けており、すべて記録に（日記）に残している。施設長以外の職員	①本件は介護保険サービスに対する苦情であるため、清瀬市の所管課に連絡し、本人から聞き取った内容を伝え、対応を依頼。本人にも清瀬市所管課から連絡がある旨伝え、本人より了承を得た。

		<p>は皆いい人で、他の利用者とも仲良くしている。これからも同所で生活したいがまたいつ施設長に嫌がらせを受けるかと思うと怖い。</p> <p>②自身の孫が入所していた西東京市内のグループホームを退所した際に請求された現状回復費用額が納得できない。入所時に同所に入所保証金を納めたが、相殺された形跡もない。また、毎月の施設利用料も納得できない点が多々ある。グループホームの所在及び孫の居住地は西東京市。（相談者は清瀬市在住）</p> <p>③就労支援センターB型事業所の利用者からの苦情で清瀬市所管課が受理。清瀬市所管課からの問い合わせ。利用者からの訴えによれば、同所の職員の態度や</p>	<p>②相談者から同意をもらい、西東京市の福祉サービス苦情対応機関（権利擁護センターあんしん西東京）に連絡。サービス支給の決定権者が清瀬市の場合は、事業所の所在地（西東京市）ではなく、清瀬市が対応する責任があるとのことで、清瀬市の所管課に確認の連絡を入れ、決定権者が清瀬市であることが判明した。そのため、当センターの福祉法律専門相談を相談者に案内し、弁護士による法律相談を受けていただき、次のアドバイスを受ける。通常、経年劣化により傷んだ箇所の修繕義務は貸主（今回の場合はグループホーム）にあり、今回請求された原状回復費用は不明瞭である。その他、グループホーム側に説明を求める点を具体的に説明した。</p> <p>相談者からは弁護士からのアドバイスを履行すべく、グループホーム側と交渉するとの返答。以後、何かあれば再度相談に伺うとのことで終了。</p> <p>③同所にも苦情対応の窓口、第三者委員会が設置されているため、まずはそちらへ訴えをされるべき。そのうえで問題解決が図れない場合は当セン</p>
--	--	--	--

	職員の入れ替わりが頻回であること等、対応への不満や不信感がある。担当の相談支援専門員から同所へ相談者の訴えを伝えたと、同所から相談支援専門員に謝罪があったが、相談者には一切の謝罪がない。相談支援専門員が担当している利用者で同所を利用している方が5名いるが、うち4名が同様の訴えをされている。	ターに再度連絡いただくよう回答。
--	---	------------------

専門相談

(1) 弁護士の福祉法律専門相談の動向

弁護士が対応する高齢者・障害者向けの無料法律相談を毎月第4水曜日の10時～正午に実施。

対象区分	高齢者等		知的障害		精神障害者等		身体障害者等		不明・その他		合計		前年比(%)
	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	
成年後見制度	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	100
苦情	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	-
虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
相続・遺言等	0	5	0	0	0	0	0	0	12	6	12	11	92
契約・財産問題	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2	200
金銭・借金	0	3	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4	400
訴訟・犯罪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
離婚	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
経済(生計)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
近隣・住まい	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	1	1	100
示談・慰謝料	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	1	100
介護	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0
養子縁組	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
人権	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
その他	0	4	0	0	0	1	0	0	4	3	4	8	200
合計	0	16	0	0	0	2	1	0	17	11	22	29	132

成年後見専門相談

(1) 成年後見専門相談の動向

制度利用を考えている方や後見人になった後の相談などに、弁護士、司法書士、社会福祉士が相談対応。年12回実施（1回の相談で2人受付。お一人1時間程度）

対象区分	高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		身体障害者等		不明・その他		合計		前年比(%)
	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	
申立前（親族）	8	7	0	2	1	1	0	0	0	0	9	10	111
（本人）	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	3	4	133
（その他）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
申立後（親族）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
（その他）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
合計	11	11	0	2	1	1	0	0	0	0	12	14	117

地域福祉権利擁護事業

(1) 事業動向

判断能力が十分でない高齢者、知的障害者、精神障害者に対する福祉サービス利用援助や金銭管理等の事業を東京都社会福祉協議会から受託。

①相談経路

対象区分	高齢者等		知的障害		精神障害者等		その他		合計		前年比(%)
	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	
ケアマネ	15	11	0	1	3	1	0	2	18	15	83
生保W	3	0	0	0	0	1	0	0	3	1	33
市	0	0	0	0	1	1	1	0	2	1	50
病院相談員	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	-
福祉施設	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0
包括支援センター	8	7	0	0	0	0	0	1	8	8	100
本人	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2	-
親族	3	0	0	2	0	0	0	0	3	2	67
民生委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
社協内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
保健所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-

対象区分	高齢者等		知的障害		精神障害者等		その他		合計		前年比(%)
	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	R2年度	R3年度	
ヘルパー事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
障害者相談支援事業所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
生活相談支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
その他	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	-
合計	29	22	0	3	5	4	1	3	35	32	91

②契約状況 令和3年4月から令和4年3月まで

対象区分	高齢者等		知的障害者等		精神障害者等		不明・その他		身体障害者等 (対象拡大)		合計		前年度末	
	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保	計	うち生保
新規契約	7	1	0	0	0	0	2	0	0	0	9	1	14	1
契約終了	10	5	0	0	2	1	0	0	0	0	12	6	12	6
契約者合計	27	7	1	1	4	3	5	1	0	0	37	12	40	15
割合(%)	100	26	100	100	100	75	100	20	0	0	100	32	100	62
契約準備件数	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	4	0

※解約事由(死亡3 施設入所・長期入院3 後見移行3 転居0 その他3 計12)

※割合中「計」欄は全体に対する割合、「うち生保」欄は区分別の生保割合を示す

※平成17年12月から令和4年3月現在までの契約者 延べ199名

③専門員連絡調整回数

年/月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計 (延べ回数)
R01	198	198	253	319	284	256	298	254	332	348	329	356	3,425
R02	392	203	504	472	457	348	403	389	401	391	347	488	4,795
R03	463	360	405	314	306	338	328	298	343	259	310	357	4,081

10. 障害者福祉センター事業

センター全体の取り組み

(1) 組織・動向

日程	内容
4/1 (木)	清瀬市受動喫煙防止条例施行に伴い、敷地内全面禁煙に
7/28 (水)	『夏ボラ体験会』開催 (ボランティアセンターと共催)
8/20 (金)	東京2020パラリンピック 採火式に参加
9/25~12/17	パラアート展覧会 (多摩6都フェア) に出展 (特別賞受賞)
11/29~12/17	清瀬市の障害者週間展示に参加
1/4 (火)	次期 (R4~R8年度) 障害者福祉センター指定管理者に指定
1/18~24	コロナ陽性者の発生による臨時休館 (全館)
2/24, 25	令和4年度からの送迎サービス事業等に関する説明会
3/4 (金)	清瀬市障害者福祉センター愛称選定 (『おおぞら』)

(2) 会議等の開催

センター運営委員会	1件
職員全体会	2件
ワーキング・委員会	33件
その他	19件

(3) 職員研修状況

研修等への出席	19件
内部研修の実施	7件

(4) 地域連携

会議・イベントの開催	3件
連絡会等への出席	55件
イベント等への参加	2件

(5) 実習・研修等の受け入れ

種別	件数(件)	延べ人数(人)
社会福祉士	8	51
介護福祉士	2	12
介護等体験	0	0
ボランティア体験	0	0
公務員研修	0	0
職場体験(中学生)	0	0
職員交換研修	0	0
その他	5	7

種別	件数(件)	延べ人数(人)
見学	18	49
施設利用実習・体験利用	7	10

(6) 災害対策関連

- ①災害対策WGの開催 15回
- ②自衛消防訓練の実施 3回
- ③優良防火対象物認定 令和4年2月25日 第2202-813-004号

管理係

(1) 施設管理

①会計管理

- 適正な予算施行、会計管理を目指し、随時処理手順の見直しを実施。
- 経費削減に関する情報を収集。
- 財務会計システムの更新に対応。

②施設設備・備品管理

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
修理等 件数	4	4	2	6	6	7	5	7	4	8	8	9	70

③支援システム運用

- バージョンアップ対応や円滑な運用の為の情報提供に努めた。

④業務の標準化

- 各種業務マニュアルの見直しを随時行った。

(2) 給食サービス

- ①食材や調理を工夫し、安全に食べられる給食を提供した。
- ②材料費の値上がりによって、使用できる食材や献立に制約がある中で、利用者からのリクエストに、可能な範囲で応えた。
- ③肥満度等に合わせた食事について書面で提案した。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
提供 食数	599	467	552	549	522	515	550	497	489	297	403	531	5,971

(3) 送迎サービス

- ①乗務員と連携をとりながら、安全、安心な送迎サービスの提供に努めた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
のべ 利用者数	1,133	982	1,218	1,109	935	1,111	1,170	925	966	585	810	1,076	12,020

(4) 保健・衛生管理

- ①医療的ケアが必要な利用者の支援や嘱託医など関連機関と連携し、保健衛生の面から利用者を支援すると共に、情報を整理して利用者や家族などに提供した。
- ②センターの状況にあった感染症対策に取り組んだ。

(単位：件)

事業所	ひまわり	のびのび	のぞみ	機能訓練	入浴サービス	その他	合計
看護師 対応件数	655	132	859	744	123	3	2,516

第1係

(1) 清瀬ひまわり園 (生活介護事業)

- ①特別支援学校卒業生1名が新規に利用を開始した。
(福祉センター内の放課後等デイサービス(学童クラブのびのび)の利用者)
- ②転居・入所・介護保険移行などの理由により、年度内に4名が利用を終了した。
- ③昨年度後半から引き続き、感染予防に配慮しながら、活動内容や支援の方法を見直し、現状に適した形でのサービス提供に努めた。
- ④1月、利用者2名が新型コロナウイルスに感染したことを受け、8日間事業所を閉鎖。その間、利用者を対象としたPCR検査の実施、所管課やグループホームとの情報交換などを通し、感染拡大の防止および早期の事業再開に努めた。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	26	26	25	25	25	25	25	24	24	23	22	23	293
のべ 利用者数	486	397	474	433	357	440	457	414	398	206	323	432	4,817

1人あたり平均利用日数(月)	平均利用者数(日)
16.4日	20.9人

(令和4年3月末現在)

障害支援区分	2	3	4	5	6	合計
人数	0	2	8	10	4	24

第2係

(1) 相談支援事業所 (相談支援事業)

- ①利用者本人の意思を尊重し、利用者自身が行えることはご自分で取り組んでいただいたり、支援関係者と役割分担をしながら、利用者本人が持っている「強み」を活かした問題解決に取り組んだ。
- ②関連する行政機関や病院、地域包括支援センター、権利擁護センター、ボランティア・市民活動センターなどと連携しながらケースに対応した。

③資源開拓については、感染防止のための自粛などの影響で、十分な情報収集が行えなかった。

④年間実利用者数

障害種別	人数 (人)
身体障害	16
重症心身障害	4
知的障害	55
精神障害	27
発達障害	17
高次脳機能障害	5
その他	3
合計	127

⑤支援方法別 年間相談件数

(単位：件)

障害種別/支援方法	訪問	来所	同行	電話	メール	支援会議	関係機関	その他	合計
身体障害	12	5	0	36	0	1	55	0	109
重症心身障害	8	2	0	7	0	1	17	0	35
知的障害	123	73	45	471	20	22	451	5	1,210
精神障害	33	10	5	160	0	4	82	0	294
発達障害	19	11	9	125	0	3	67	0	234
高次脳機能障害	8	4	2	44	0	1	23	0	82
その他	0	1	0	2	0	0	0	0	3
合計	203	106	61	845	20	32	695	5	1,967

⑥相談内容別 年間支援回数

(単位：回)

	福祉サービス利用	障害や病状理解	健康・医療	不安・情緒不安定	保育・教育	家族・人間関係	家計・経済	生活技術	就労	社会参加	権利擁護	その他	合計
身体障害	76	9	28	17	1	10	12	14	0	0	0	0	167
重症心身障害	28	6	12	5	0	3	0	1	0	0	0	0	55
知的障害	583	71	254	375	4	176	220	204	10	13	85	6	2,001
精神障害	121	18	95	111	0	34	35	41	44	1	9	4	513
発達障害	113	9	42	95	11	20	36	51	89	1	2	0	469
高次脳障害	26	22	13	36	0	4	0	7	47	0	0	0	155
その他	1	2	0	1	0	1	1	0	0	0	0	1	7
合計	948	137	444	640	16	248	304	318	190	15	96	11	3,367

⑦計画相談利用者数（令和4年3月末現在）

（単位：件）

障害者	障害児	合計
84	14	98

(2) 学童クラブのびのび

- ①全国的にも陽性者の増加が見られたため、飲食スペースを分けるなど、感染予防のための工夫をした。
- ②手洗いや換気など感染予防のための指導に重点を置いた。
- ③就学前施設と連携し、新しく1年生を受け入れた。
- ④利用状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	18	17	16	17	18	17	17	17	18	17	16	19	207
のべ利用者数	142	128	166	148	143	154	163	151	155	99	94	158	1,701

1人あたり平均利用日数（月）	平均利用者数（日）
8.3日	7.1人

(3) 同行援護事業

- ①利用者の外出自粛の影響により、利用件数は減少したが、感染防止に留意しながらサービス提供を行った。
- ②感染対策を行いながら、従業者研修を開催した。
- ③サービス提供責任者が視覚障害者サークルに参加し、事業の普及啓発に取り組んだ。
- ④利用状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	7	7	7	6	5	5	6	8	6	4	6	8	75
のべ利用者数	19	14	18	17	18	15	20	26	22	12	15	19	215

(4) 移動支援事業・生活サポート事業

- ①移動支援事業の利用件数は、『不要不急の外出自粛』の影響で大幅に減少した。
- ②ご家族が送迎できない事案より、通学通所支援に対応した。
- ③生活サポート事業については、問い合わせがあった際に事業概要をご説明しているが、利用には結びつかなかった。
- ④移動支援利用状況

（単位：人）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	1	1	1	2	1	2	3	6	5	3	0	1	26
のべ利用者数	1	16	10	16	2	9	44	30	6	3	0	1	138

⑤生活サポート事業利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
のべ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

第3係

(1) 機能訓練事業所

- ①利用者獲得のため、市内の相談支援事業所や近隣市の障害福祉課に、事業の周知、宣伝を行った。
- ②事業の実施によって培った資源を地域に還元するため、主に高齢分野の機関との連携を行った。
 - ・ケアメンの集い（地域包括支援センター主催）への講師派遣
 （『がんばりすぎない介護講座』介助者及び要介護者のための筋力トレーニングなど）
 - ・自立支援型地域ケア会議へのオブザーバー出席
- ③翌年度以降の事業展開を見据え、共生型サービスや地域市民むけのリハビリの機会提供などの事業について、実施の検討及び準備を進めた。

④利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	26
のべ利用者数	34	28	34	26	30	33	34	36	35	23	42	46	401

一人あたり平均利用日数(月)	平均利用者数(日)
15.4日	1.7人

(2) 生活介護事業所のぞみ

- ①昨年度に引き続き、感染予防に配慮しながら、現状に即した支援の実施に努めた。
- ②入浴サービス事業の単独利用から、1名の方が生活介護の利用につながった。
- ③医療的ケアの必要な方の進路実習を2名受け入れた。（うち1名は令和4年度から利用開始。もう1名の方は、来年度の利用開始に向けて調製中）

④利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	7	7	7	9	9	9	9	9	9	9	9	9	102
のべ利用者数	85	75	84	89	78	85	95	87	72	66	85	98	999

(3) 入浴サービス事業

①従事者の不足に対して、事業所や係の枠を超えて、福祉センター全体で入浴事業の維持に取り組み、同性介助の継続及び安定した質の高い支援の提供に努めた。

②利用状況

(単位：人)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
実利用者数	6	6	6	7	7	7	7	7	7	7	7	7	81
のべ利用者数	29	27	28	33	31	28	30	32	32	25	32	37	364

利用者の動向

(1) 障害種別ごとの登録者数 (令和4年3月末現在)

(単位：人)

		第1係	第2係			第3係			合計
		ひまわり園	学童クラブ のびのび	同行援護	移動支援 生活サポート	機能訓練 事業所	生活介護 のぞみ	入浴 サービス	
身体 障害者 手帳	1級	3	0	8	4	0	5	4	24
	2級	5	0	4	3	1	4	2	19
	3級	1	2	2	1	0	0	0	6
	4級	0	0	0	0	1	0	0	1
	5級	0	0	0	0	0	0	0	0
	6級	0	0	0	0	0	0	0	0
愛の 手帳	1度	1	0	0	0	0	3	2	6
	2度	19	4	0	10	0	1	0	34
	3度	4	9	0	8	0	0	1	22
	4度	0	3	0	4	0	0	1	8
精神障害手帳	0	1	0	0	1	0	0	2	
手帳無し	0	2	0	0	0	0	0	2	
重複	9	2	0	8	0	4	3	26	
合計	24	19	14	22	3	9	7	98	
前年合計	27	20	14	20	1	7	6	95	

(2) 年齢別登録者数 (令和4年3月末現在)

(単位：人)

	第1係	第2係			第3係			合計
	ひまわり園	学童クラブ のびのび	同行 援護	移動支援 生活サポ ート	機能 訓練 事業所	生活介護 のぞみ	入浴 サービス	
～19才	1	19	0	7	0	0	0	27
20才～29才	3	0	0	1	0	1	0	5
30才～39才	7	0	0	4	0	3	3	17
40才～49才	8	0	2	7	2	1	2	22
50才～59才	3	0	0	0	0	1	1	5
60才～	2	0	12	3	1	3	1	22
合計	24	19	14	22	3	9	7	98
前年合計	27	20	14	20	1	7	6	95

(3) 利用状況総括表(のべ利用者数)

	第1係	第2係				第3係			給食サービス	送迎サービス	合計
	ひまわり園	相談支援事業	学童クラブ のびのび	同行 援護	生活サポ ート	移動支援	機能 訓練 事業所	生活介護 のぞみ			
4月	486	205	142	19	1	34	85	29	599	1,133	2,733
5月	397	179	128	14	16	28	75	27	467	982	2,313
6月	474	235	166	18	10	34	84	28	552	1,218	2,819
7月	433	165	148	17	16	26	89	33	549	1,109	2,585
8月	357	135	143	18	2	30	78	31	522	935	2,251
9月	440	202	154	15	9	33	85	28	515	1,111	2,592
10月	457	173	163	20	44	34	95	30	550	1,170	2,736
11月	414	183	151	26	30	36	87	32	497	925	2,381
12月	398	156	155	22	6	35	72	32	489	966	2,331
1月	206	140	99	12	3	23	66	25	297	585	1,456
2月	323	98	94	15	0	42	85	32	403	810	1,902
3月	432	96	158	19	1	46	98	37	531	1,076	2,494
合計	4,817	1,967	1,701	215	138	401	999	364	5,971	12,020	28,593
前年 合計	4,488	2,176	1,737	318	53	163	767	345	5,330	10,922	26,299